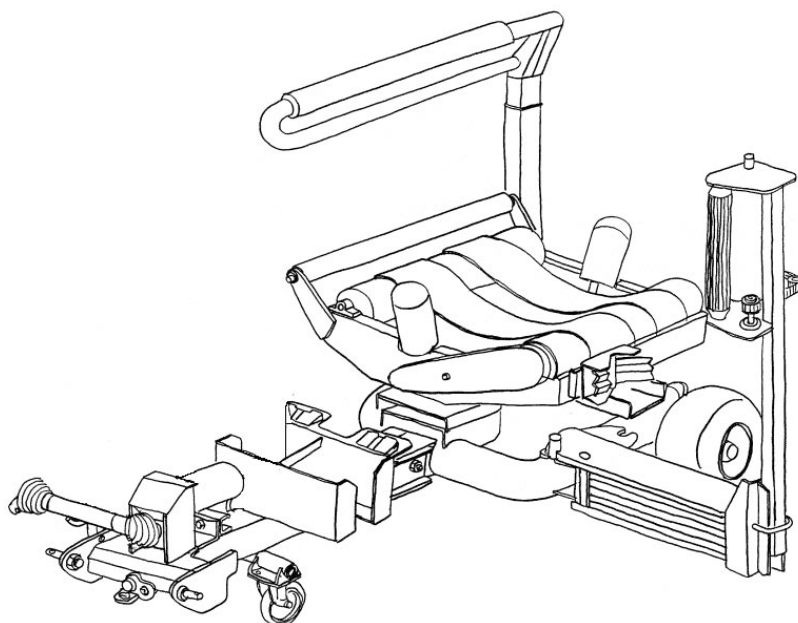


取扱説明書及び部品表

Takakita オートラップマシン

WM1262A
WM1272A



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**オートラップマシン**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱
いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	18
各部の名称とはたらき	19
トラクタへの装着	20
1. 装着のしかた	20
2. ユニバーサルジョイントの取付け	20
3. コントロールボックスの接続	21
4. セーフティチェーンの取扱い	21
5. 運行速度ステッカーの取扱い	23
運転に必要な装着の取扱い	24
1. WM1262Aのフィルム装着	24
2. WM1272Aのフィルム装着	25
3. フィルム伸び率の調整	25
4. タイアエンドカットにフィルムをはさむ	25
5. コントロールボックスの使い方	26
6. WM1262Aの 巻付数設定方法	29
7. ダブルストレッチの 巻付数設定方法 (WM1272A)	29
8. サイドローラの位置	29
9. シングル/ダブルストレッチの 切替え (WM1272A)	29
10. アームの取付け位置	31
11. シェアボルトについて	31
12. テールランプの確認	32
作 業 方 法	33
1. 作業手順と要点	33
2. ストレッチ台を引き出す	34
3. 自動運転を行う	34
4. 手動運転を行う	35
5. ベールを軽トラックに積込む場合	36
6. 移動時の注意	36
7. 収納時の注意	36
作業前の点検について	37
簡単な手入れと処置	38
1. 油圧作動油について	38
2. チェンの調整	38
3. タイアエンドカットの調整	38
4. タイヤの空気圧	39
5. ゴムロール	39
6. スイッチ類の調整	39
不 調 診 断	41
付 表	42
1. 主要諸元	42
2. 主な消耗部品	42
3. 電装の位置	43
4. 電装回路図	44
5. 保安部品電装回路図	45



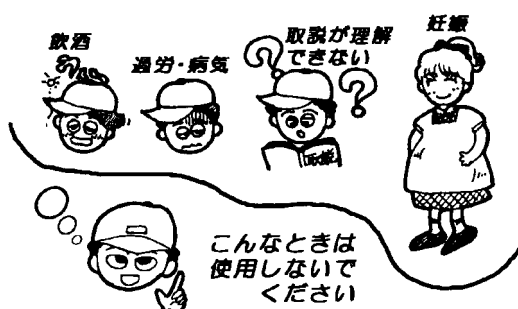
機械を貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

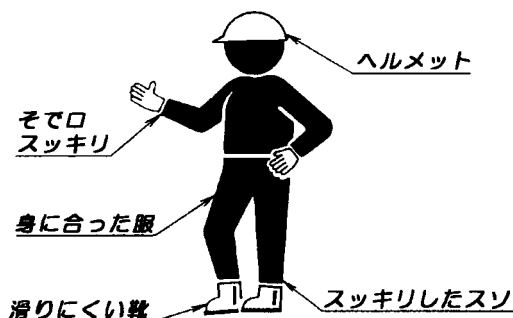
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



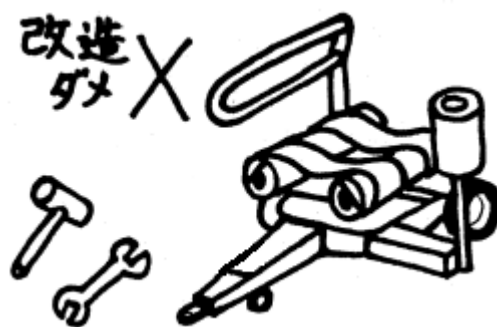
(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ
以外には装着しないでください。

型 式	馬力 (kW{PS})	装着方法
WM1262A WM1272A	18.4~51.5 {25~70}	2Pけん引 カテゴリ I

(4) 機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けないでください。
また、改造しないでください。



(5) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。





安全に作業するために

2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業できるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所で、PTOを切り、トラクタのエンジンを停止し、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部の草などの巻付きやたまりを取り除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

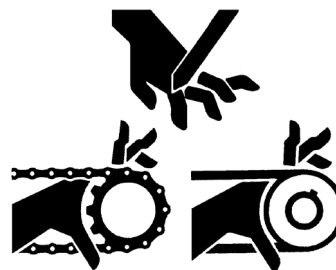
エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



(6) カバー類を必ず取付ける

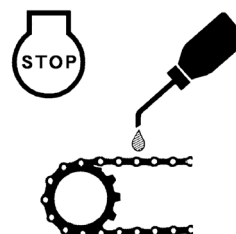
カバー類などの防護装置を取外す場合は、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(7) 注油・給油するときは

チェーンへの注油は、必ずPTOを切り、エンジンを停止してから行ってください。



また、油圧パッケージへの給油は、高温のときには行わないでください。



安全に作業するために

(8) ナイフに注意すること

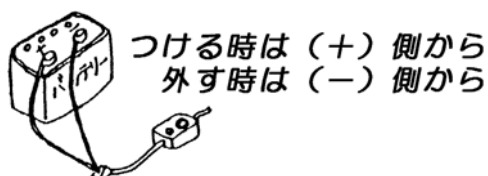
ナイフ類は絶対に素手で触れないでください。必ず手袋などの保護具を着用してください。

(9) コントロールボックスの電源脱・着は

トラクタのバッテリーより電源を取ります。その取付け方法は、(+)側から行ってください。

外す時は、(-)側から行ってください。逆にすると火花が飛び危険です。

(詳細は本文の『コントロールボックスの接続』を参照してください。)



(10) 長期格納するときは

機械をきれいにし、回転部およびチェンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。

コントロールボックスはトラクタより取外して屋内の乾燥した場所に保管してください。



チェンに
注油

注意

各チェン、各回転部分や摩擦しゅう動部分には十分注油してください。また、部品が摩耗したまま使い続けると、摩擦による加熱の原因となり、場合によっては火災となります。

3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づかないようにしてください。



(2) エンジンを始動するときは

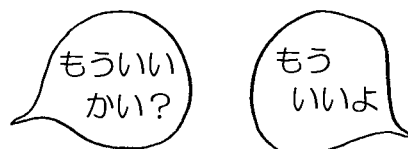
PTOを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。

守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) ストレッチフィルムの交換や

草の巻き付きを取除くときはPTOを切り、エンジンを必ず停止してから行ってください。





安全に作業するために

(5) 回転中のユニバーサルジョイント

には触れない

回転しているユニバーサルジョイントに手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれて傷害を負うことがあります。

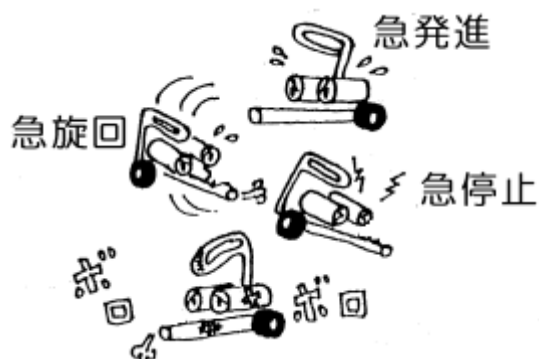


(6) 急な発進・停止・旋回・

スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起状の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。



(7) エンジンは低速回転で

高速回転にすると、ベールが飛び出したり、機械が振動したりして大変危険です。

ラップするときは、PTO回転を必ず $370 \sim 400 \text{ min}^{-1} (\text{rpm})$ で作業してください。

(8) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

- ①等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の作業は、必ず等高線に対して直角方向に走行してください。
- ②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。守らないと、転倒する危険があります。
- ③谷側からの積み込み・降ろしは、転倒の危険がありますので、絶対に行わないでください。



(9) 溝や畦を横断したり

軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

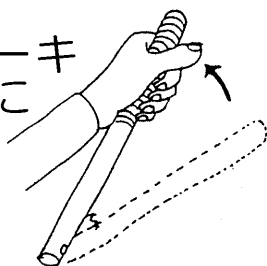




安全に作業するために

- (10) 作業途中で運転席より離れるときは平坦な場所に停止し、PTOを切り、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけ、本作業機側に車止めをしてください。

駐車ブレーキ
も忘れずに



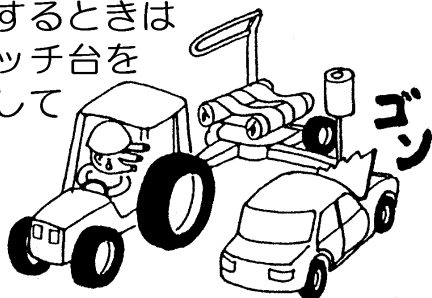
- (11) 移動するときは

アームを最も縮めた状態にしてください。伸ばしたまま移動すると、障害物にぶついたり、電線を引っ掛け、感電する恐れがあります。



また、ストレッチ台は必ず収納してください。ストレッチ台を引き出したまま移動すると、器物を破損する恐れがあります。

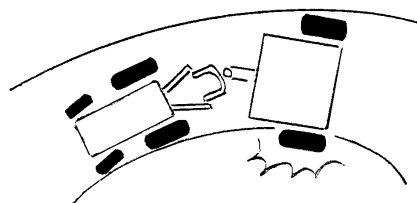
移動するときは
ストレッチ台を
収納して



- (12) 移動および作業の旋回の際は

トラクタに本機をけん引して旋回するときは内輪差が生じるので、十分注意してください。

急旋回は危険ですので行わないでください。



内輪差あり

4. 輸送するときは

トラックなどへ積み込み・降ろしは、平坦な場所でトラックが移動しないようにエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。積み込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。



安全に作業するために

5. 公道走行するときは

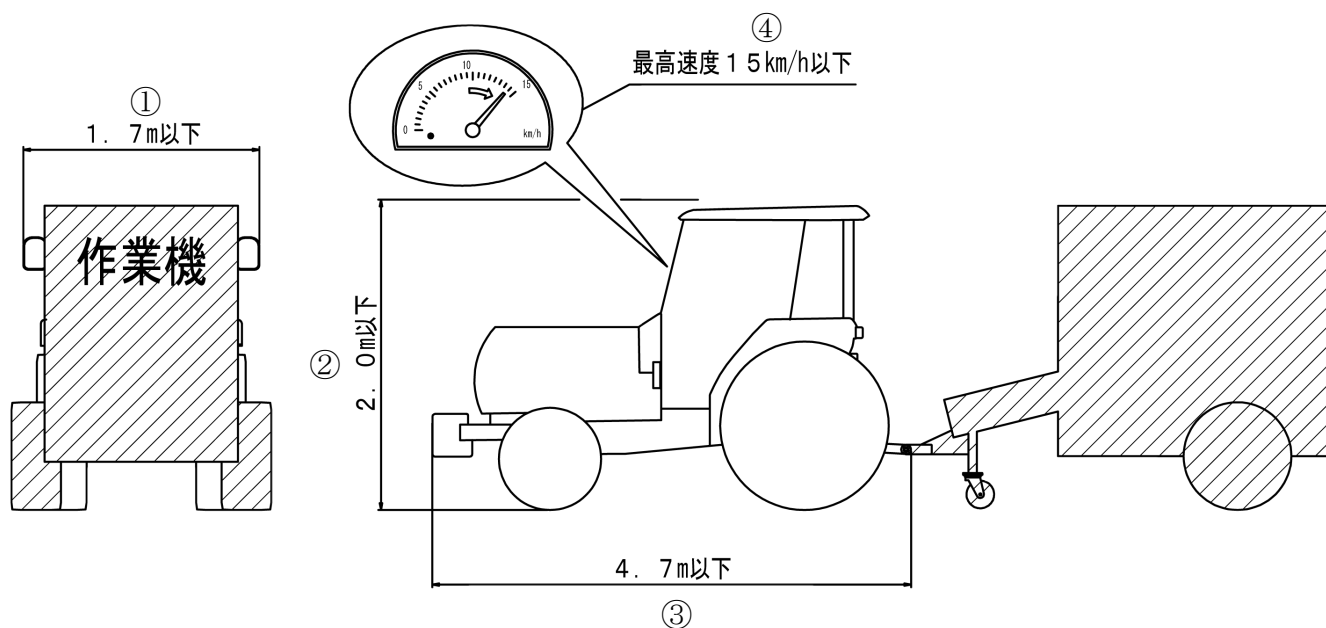
農耕用トラクタに関わる道路運送車両法の運用が見直され、保安基準に緩和措置が設けられました。必要な対応をすることで、けん引タイプの作業機で公道を走行することができます。公道走行する際は、下記項目を確認したうえで必要な対応を行い、法令遵守して走行してください。

(1) 必要な運転免許証について

トラクタの寸法が下表①～③の数値以内で④最高速度15km/h以下の場合は小型特殊免許で運行可能になりますが、下表①～④の数値をひとつでも上回る場合、大型特殊免許(農耕用に限る、も含む)とけん引免許(農耕用に限る、も含む)が必要となります。ただし、車両総重量750kgを超えない農耕作業用トレーラをけん引する場合、けん引免許(農耕用に限る、も含む)は必要ありません。

- | | |
|----------|-----------------------------|
| ① 全幅1.7m | ② 全高2.0m(安全キャブや安全フレームは2.8m) |
| ③ 全長4.7m | ④ 最高速度15km/h以下 |

下図を参考にご確認ください。





安全に作業するために

(2) 保安基準への適合性確認

自動車の種類と大きさにより、申請や検査登録が必要になります。

いずれの場合も農耕作業用トレーラ、農耕トラクタの使用者が保安基準適合性を確保する必要があります。

けん引車の農耕トラクタの種別	農耕作業用トレーラの種別と手続き
小型特殊自動車	[小型特殊自動車] ①一般的な大きさのもの ※1 ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要はありません。
大型特殊自動車 (自動車検査証にけん引時の速度制限の基準緩和を受けた旨の記載があるもの)	②全幅が2.5mを超えるもの ・道路管理者(地方整備局、各都道府県、各市町村等)に対し、個別に特殊車両通行許可を受ける必要があります。 ③長さが12mまたは全高3.8mを超えるもの ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。
大型特殊自動車 (上記以外のもの)	[大型特殊自動車] ①一般的な大きさのもの ※2 ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 ②長さが12mまたは高さが3.8mを超えるもの、その他オーバーハング等の基準を超えるもの ・管轄の運輸支局等で検査登録が必要です。 ・個別に地方運輸局長から基準緩和の認定を、道路管理者から特殊車両通行許可を受ける必要があります。

※1 全幅2.5m、全長12m、全高3.8mを超えない大きさのもの

※2 農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結全長が12mを超える場合、道路管理者(地方整備局、地方自治体等)から、特殊車両通行許可を受ける必要があります。

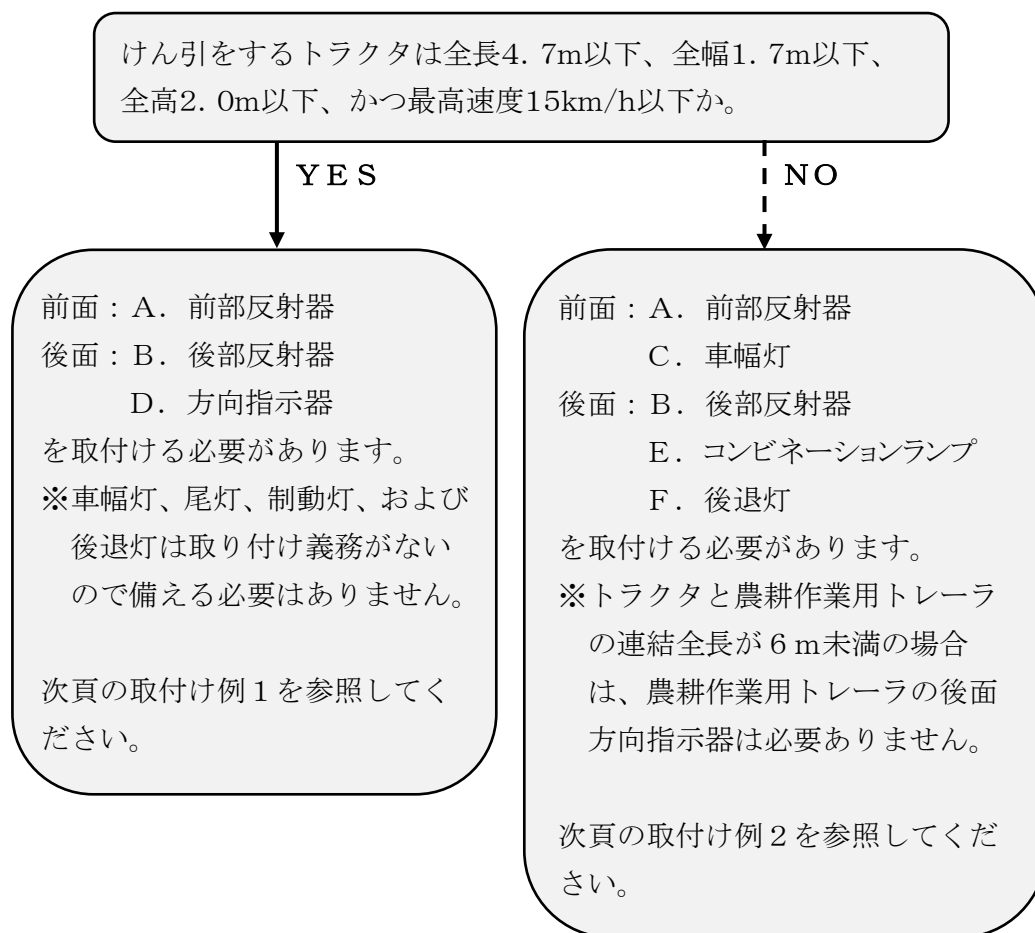


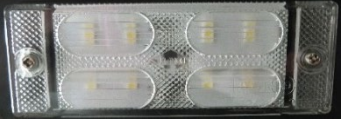
安全に作業するために

(3) 灯火器類・ステッカーの取付け

下記フローチャート①～③を全てそれぞれについてご確認ください、必要に応じて公道走行を行うための追加装備を取付けてください。

①トラクタの大きさ、最高速度による灯火器取付け位置



A.前部反射器	B.後部反射器	C.車幅灯	D.方向指示器
			
E.コンビネーションランプ		F.後退灯	
			



安全に作業するために

● 装備の取付け位置

・道路運送車両の保安基準により、各種灯火器類の取付け位置は定められています。

○前部反射器(リフレクター)	最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
○後部反射器(リフレクター)	最外側から40cm以内、高さは地上25cm以上150cm以下
○車幅灯(ポジションランプ)	最外側から15cm以内、高さは地上25cm以上210cm以下
○方向指示器(ウインカー)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上230cm以下
○尾灯(テールランプ)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
○制動灯(ブレーキランプ)	最外側から40cm以内、高さは地上35cm以上210cm以下
○後退灯(バックランプ)	高さは可能な限り25cm以上120cm以下

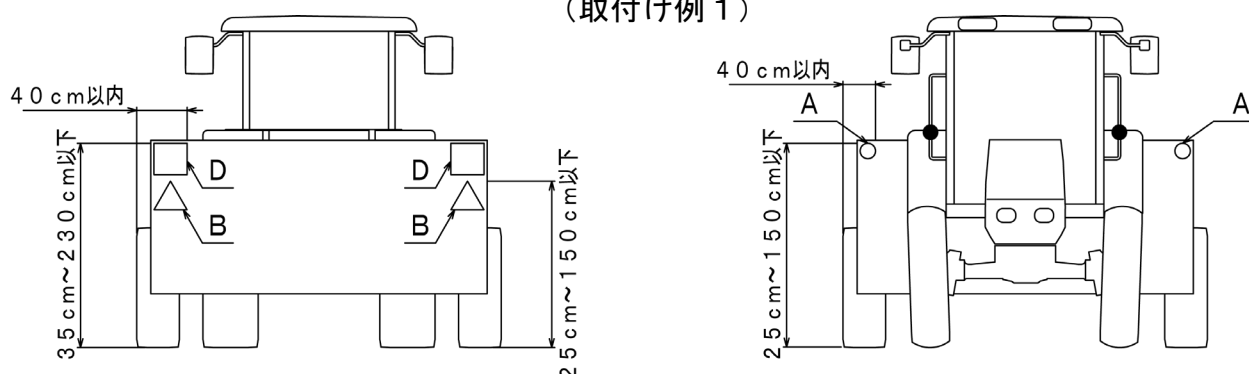
・車幅灯は前方から確認(視認)できる位置に、上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。

・コンビネーションランプ※は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たし、可能な限り左右対称になるように取付けてください。

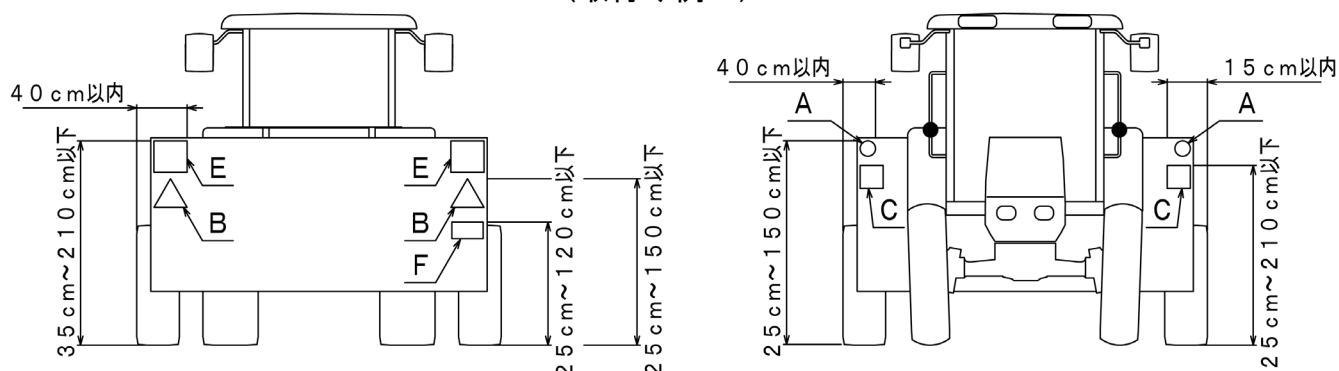
・後退灯は後方から確認(視認)できる位置に上記条件を満たすように取付けてください。

※コンビネーションランプ・・・方向指示器、尾灯、制動灯が一体化したもの

(取付け例 1)



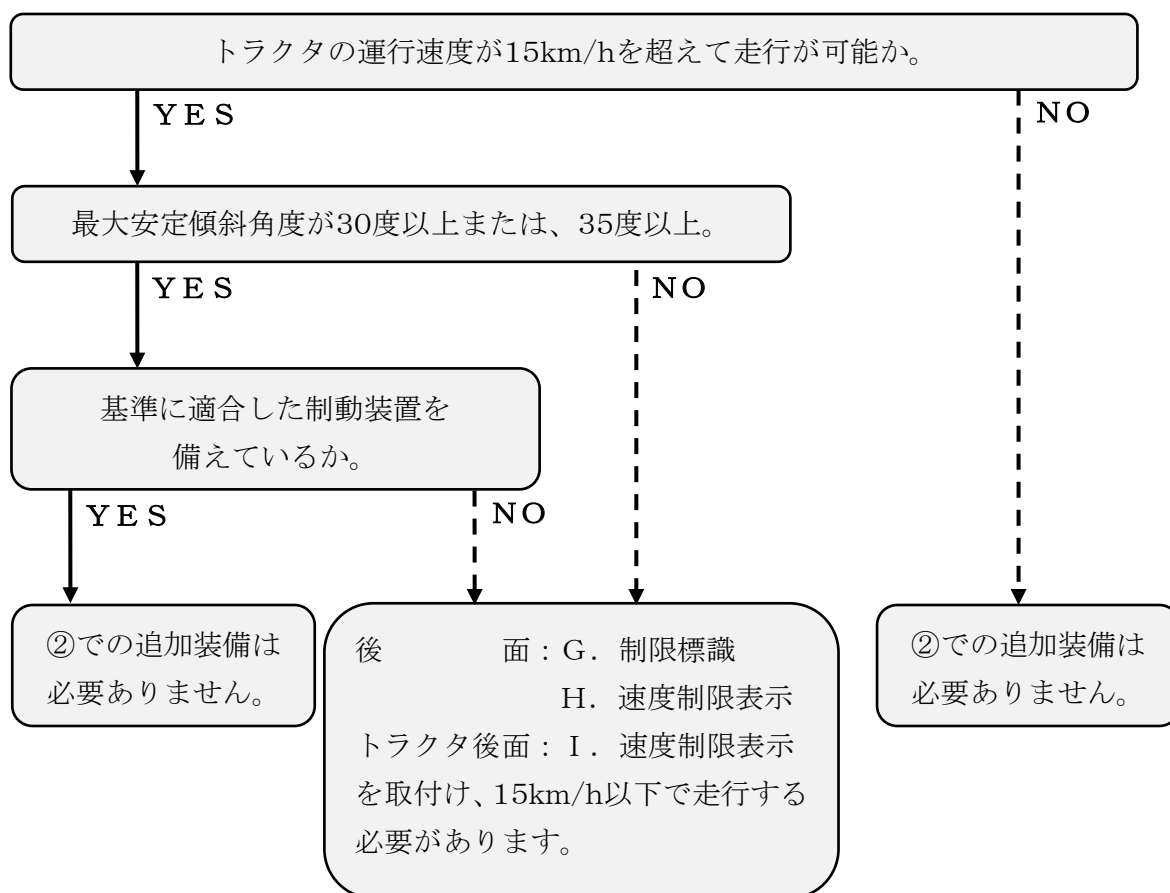
(取付け例 2)





安全に作業するために

②トラクタの運行速度



●最大安定傾斜角度が不明な場合は、運行速度15km/h以下で走行してください。

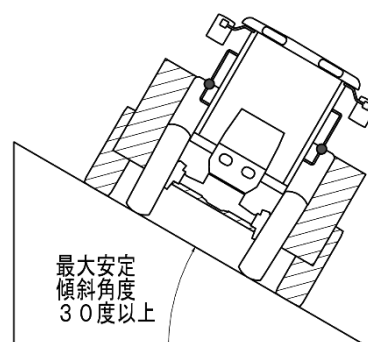
<安定性に関して>

作業機を装着した際に、最大安定傾斜角度が30度以上または、35度以上(車両総重量が車両重量の1.2倍以上または、積載により重心高さが上がるもの)であれば、通常ので道路走行できます。

上記条件を満たさない場合は、

- ・運行速度15km/h以下での道路走行
- ・道路走行をする際に、Gを作業機後面に表示、
Hを作業機後面に表示、

Iをトラクタ後面・運転席に表示
を行う必要があります。





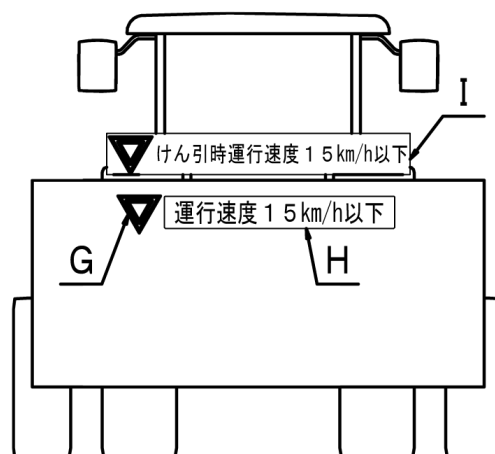
安全に作業するために

● 装備の取付け位置

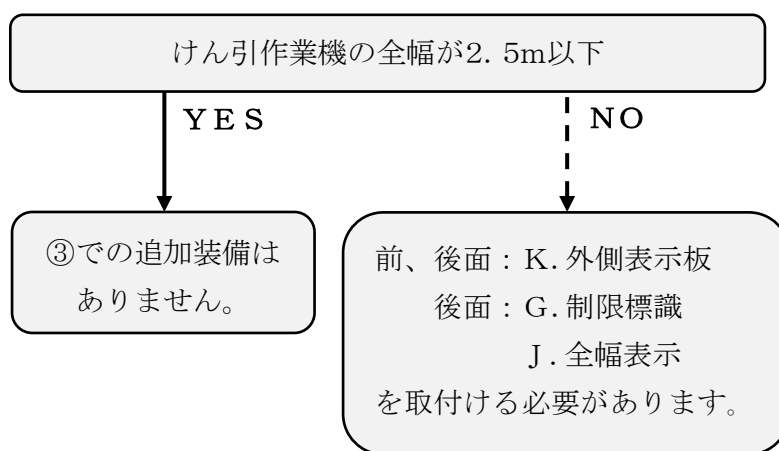
- ・ G、H、I は後方から確認できる位置に取付けてください。
- ・ I は運転席にも表示する必要があります。

(取付け例)

G. 制限標識	H. 速度制限表示 (作業機側)
I. 速度制限表示 (トラクタ側)	



③ 作業機装着時の全幅



G. 制限標識	J. 全幅表示	K. 外側表示板

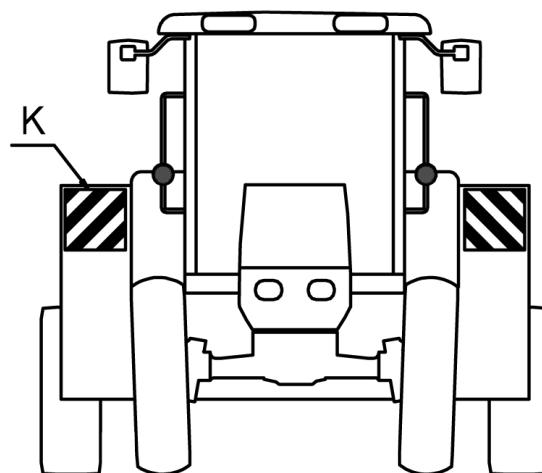
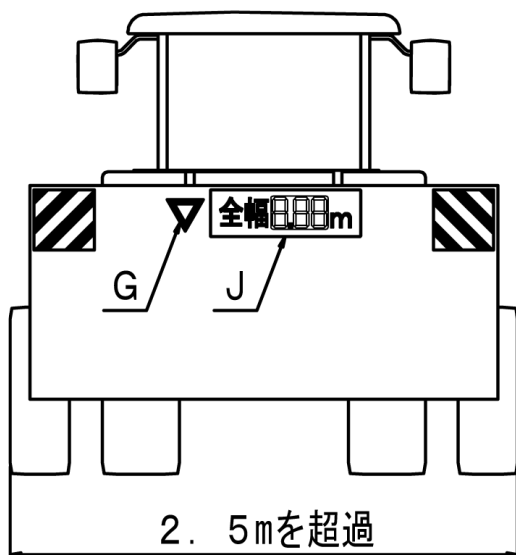


安全に作業するために

● 装備の取付け位置

- ・ G、J は後方から見やすい位置に取付けてください。
- ・ K は前後、両端に赤白ラインが「ハの字」になるように取付けてください。

(取付け例)





安全に作業するために

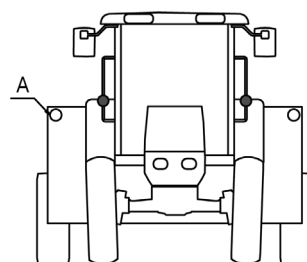
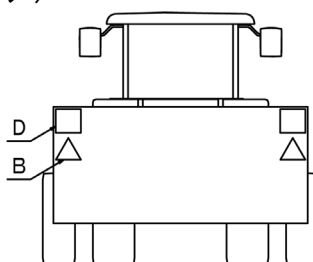
灯火器類・ステッカー取り付け例

灯火器取付け位置

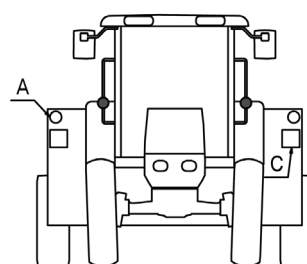
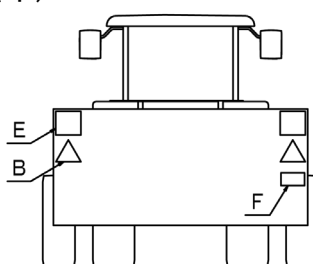
車幅灯
前部反射器
尾灯
後部反射器
制動灯
方向指示器
後退灯

全長 4.7m以下、
全幅 1.7m以下、
全高 2.0m以下、
最高速度 15 km/h
以下の場合

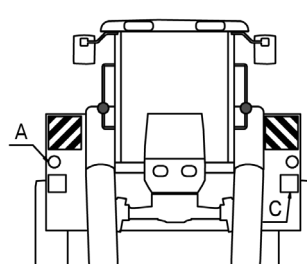
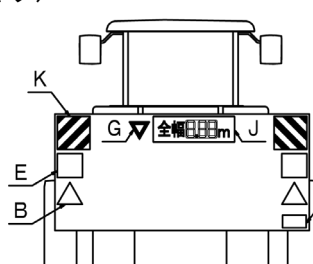
(ア)



(イ)



(ウ)



全幅が 2.5mを
超える場合

灯火器・ステッカー

A. 前部反射器

B. 後部反射器

C. 車幅灯

D. 方向指示器

E. コンビネーションランプ

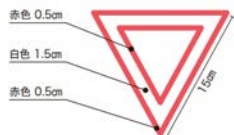


F. 後退灯

G. 制限標識

H. 速度制限表示
(作業機側)

I. 速度制限表示
(トラクタ側)



運行速度 15 km/h 以下

けん引時運行速度 15 km/h 以下

J. 全幅表示

K. 外側表示板

全幅 8.88m



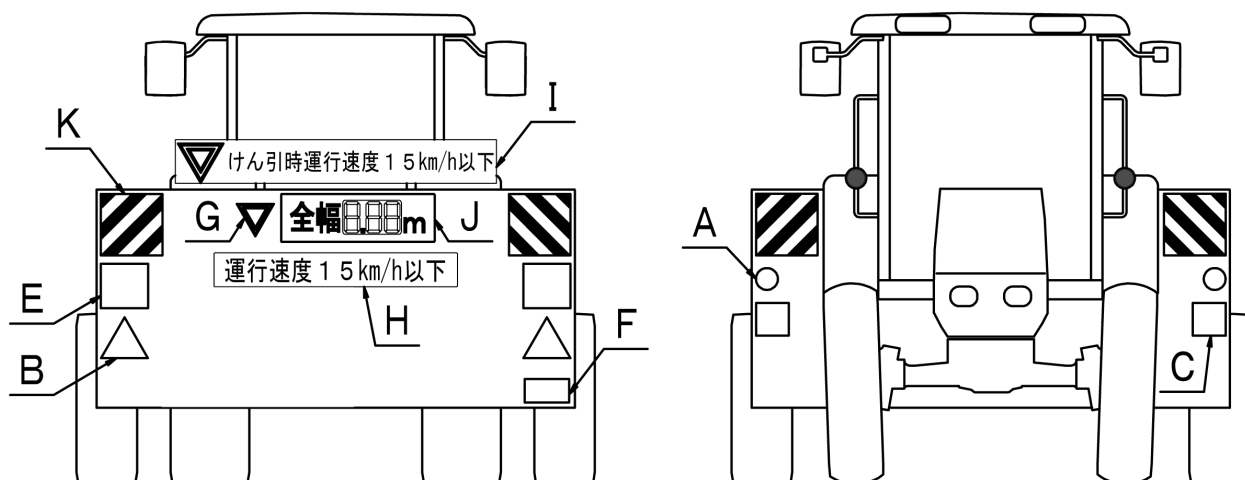
※全幅2.5mを超過する場合は、道路管理者(国道：地方道路局、県道：各都道府県、市道：各市町村)から特殊車両通行許可を得る必要があります。



安全に作業するために

- p.10「②トラクタの運行速度」を確認後、速度制限表示が必要な場合は取付けてください。

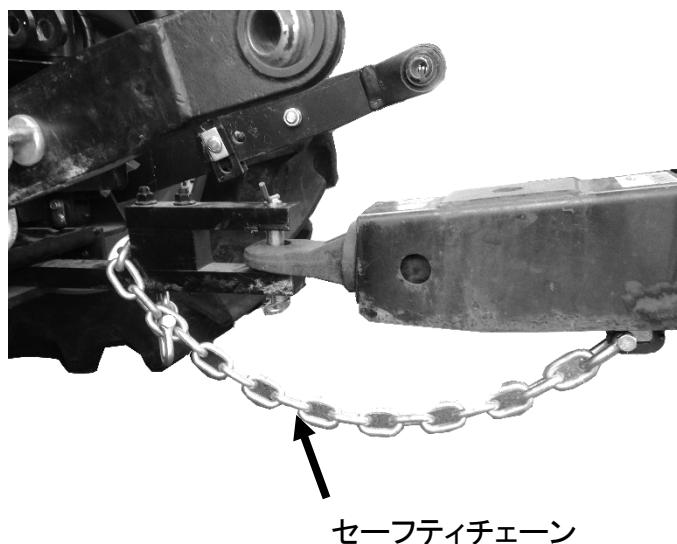
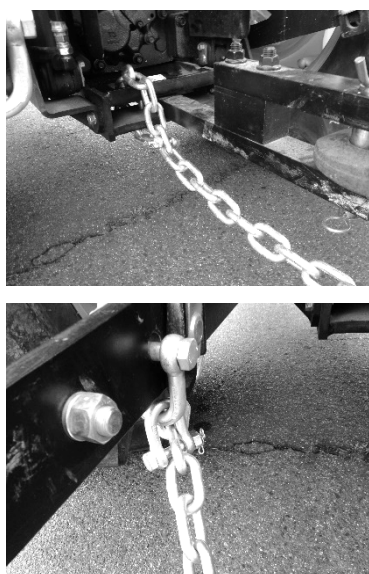
例：(ウ) に速度制限表示を追加



- 灯火器類取付けの際には、トラクタの操作と連動して点灯することを確認後に公道走行を行ってください。また、灯火器類・ステッカーが汚れたときは視認できるように掃除をしてください。

(4) 農耕作業用トレーラの構造要件(分離時の連結維持構造)に関して

農耕トラクタが農耕作業用トレーラをけん引した際に、不意に連結装置(ドローバ等)が分離したときでも農耕トラクタと農耕作業用トレーラの連結を保つことができる構造でなければ道路走行できません。セーフティチェーン等を備え、けん引時にはセーフティチェーン等をねじ止め等でつないで道路を走行してください。

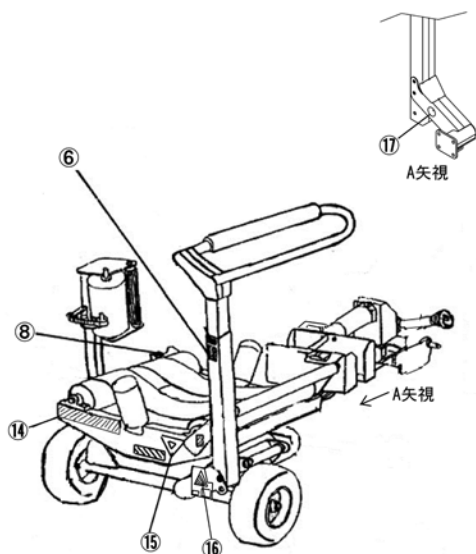


詳細は日農工「公道走行ガイドブック」(<http://www.jfmma.or.jp/kouido.html>)をご覧ください。
その他不明な点は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。



安全に作業するために

6. 警告ラベルの貼付け位置



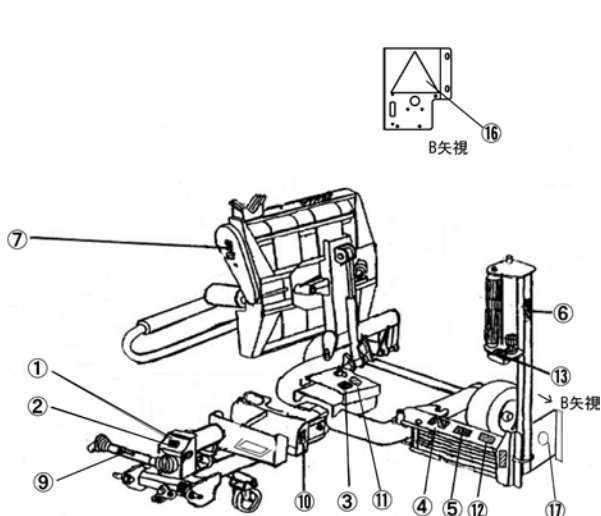
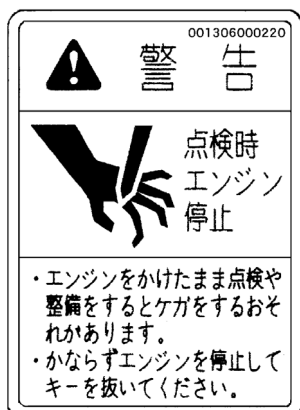
①部品コード 001206000350



②部品コード 001206000610



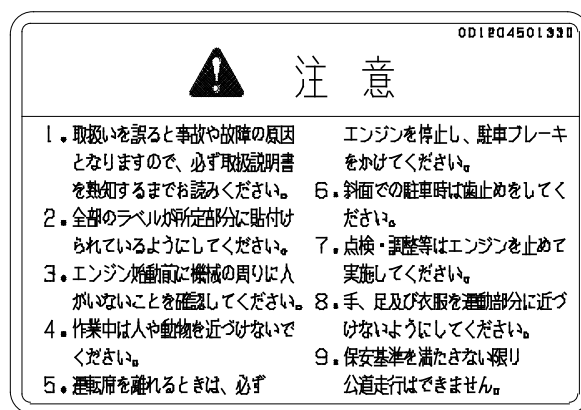
③部品コード 001306000220



④部品コード 001206000950



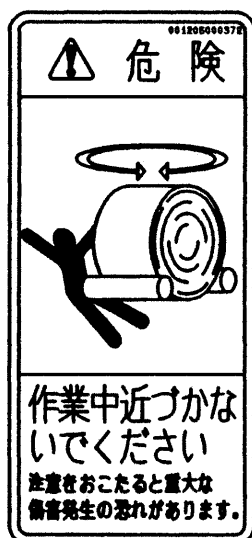
⑤部品コード 001204501330



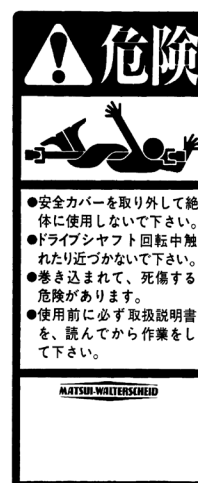


安全に作業するために

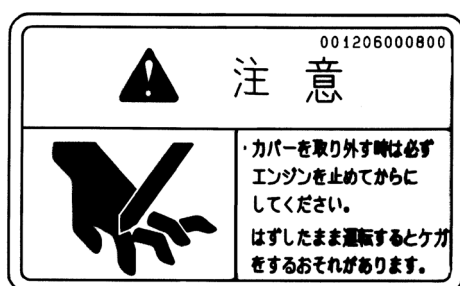
⑥部品コード 001206000372



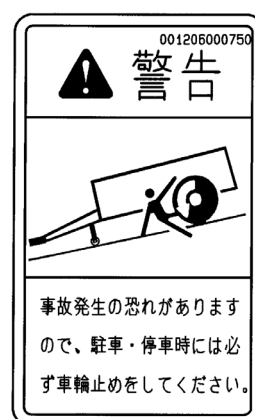
⑨部品コード 001306951010



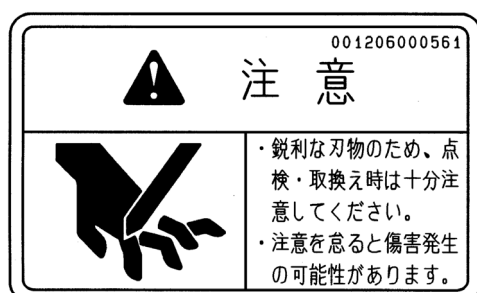
⑦部品コード 001206000800



⑩部品コード 001206000750



⑧部品コード 001206000561



⑪部品コード 001206001320



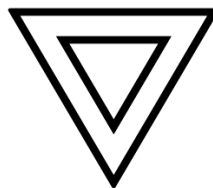


安全に作業するために

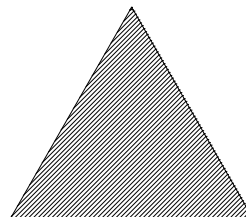
⑫部品コード 001306000210



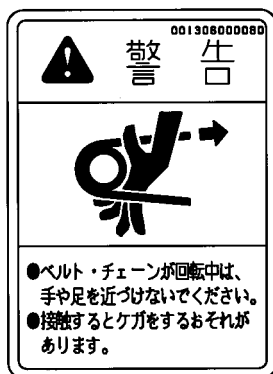
⑮部品コード 00120600260



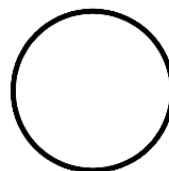
⑯部品コード 001206002340



⑬部品コード 001306000080



⑰部品コード 001206002280



⑭部品コード 001205200060

運行速度15km/h以下

警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、剥がれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等のベールをラップする作業にご使用ください。

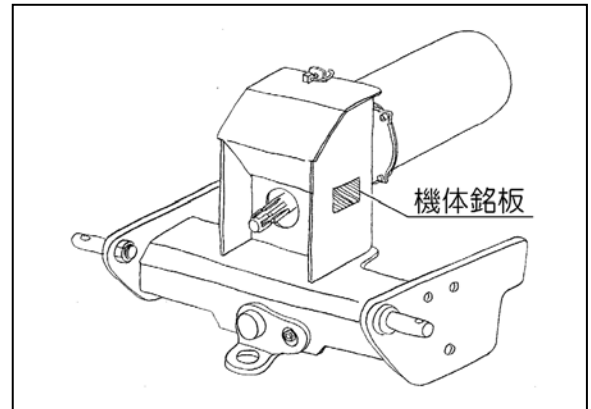
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、J A (農協)、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

- 品名と型式
 - 機体 No. (SER-No)
 - ご使用状況は？ (どんな条件でどんな作業をしていたときに)
 - どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用後)
 - 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。
- ※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	オートラップマシーン
型 式	WM 1 2 6 2 A、WM 1 2 7 2 A
機体 No. (SER-No.)	
購入年月日	年 月 日
販売店名	TEL : ()

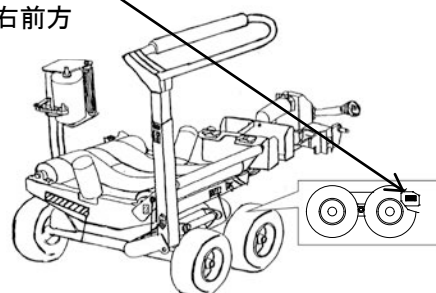
車台番号について

本製品には、上記機体 No. と関連させて機械の同一性を管理する車台番号が打刻されています。

打刻位置と打刻形式は右図を参照ください。

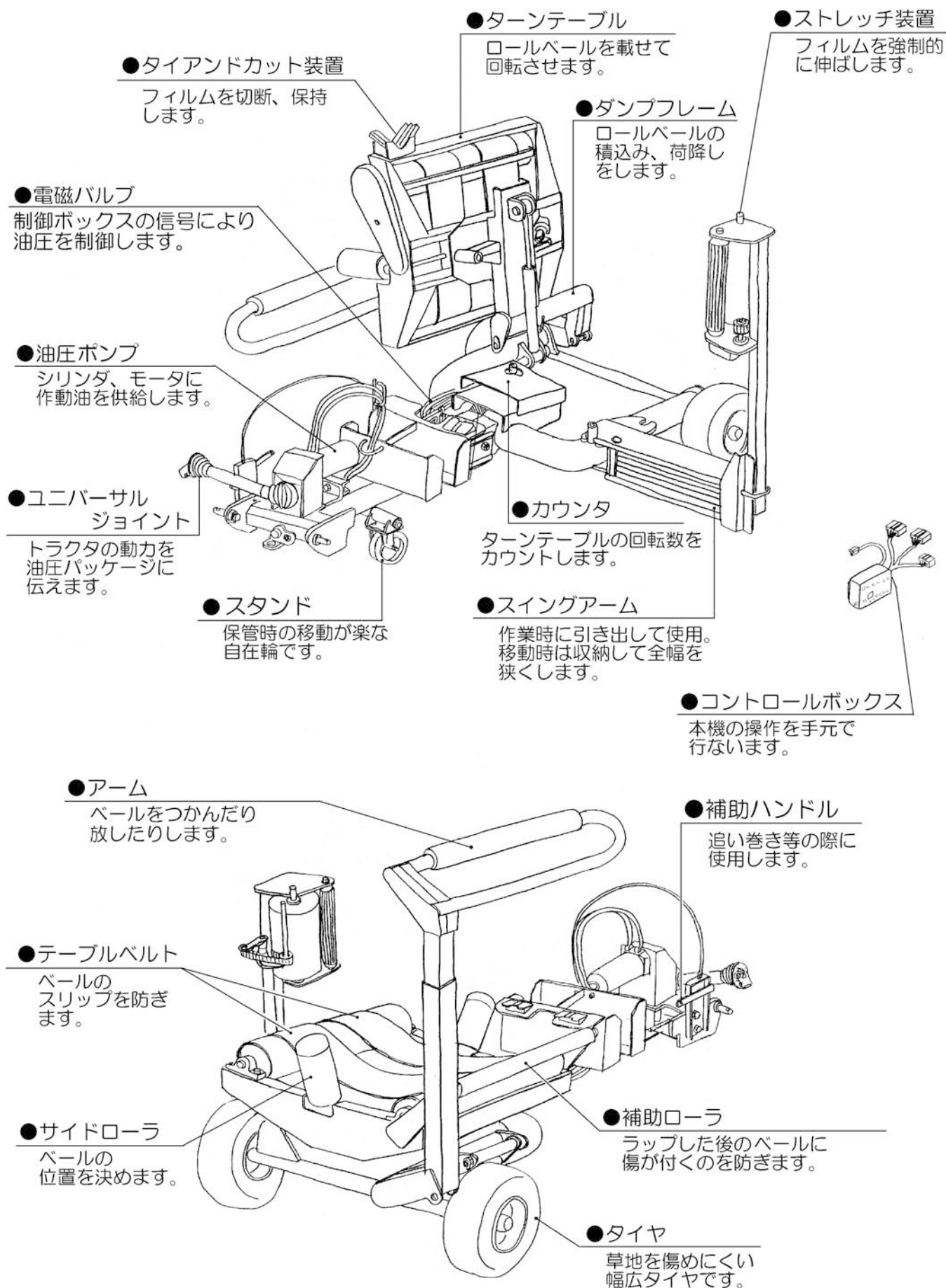
車台番号打刻位置

シャーシ右前方



車台番号
WM1261-****

各部の名称とはたらき



トラクタへの装着

！ 警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
 - 二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
 - ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止し、PTOを切ってから確実に取り付けてください。
- 以上のことを守らないと、傷害発生のおそれがあります。

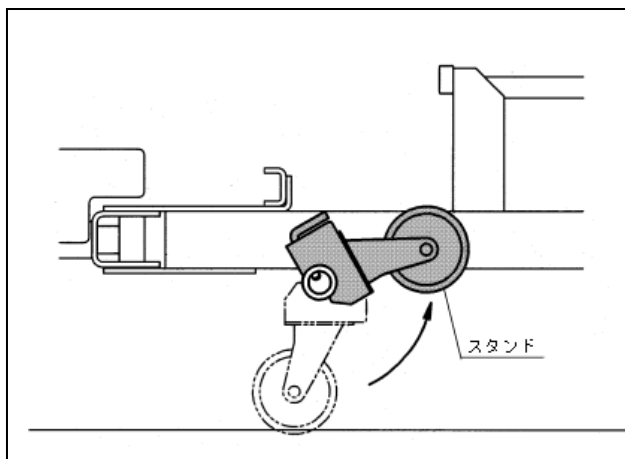
1. 装着のしかた

◆ドローバを取付ける

左ロワーリンク、右ロワーリンクの順序で取り付けてください。

◆スタンドを上げる

ポジションコントロールでロワーリンクを少し上げ、ピンを抜いてスタンドを上げます。

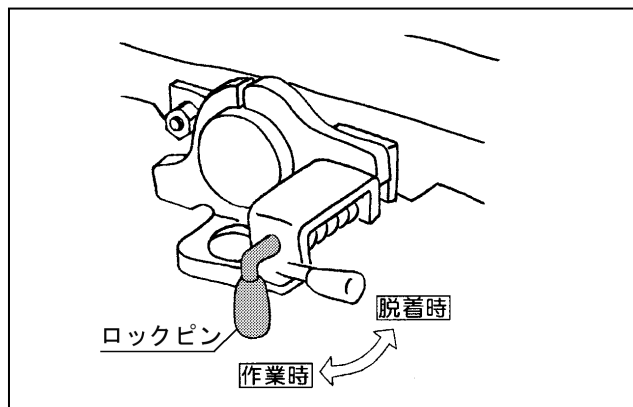


◆チェックチェーンで横振れ調整

運転および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心にロワーリンクが左右に2～3cm程度の振れになるように調整してください。

◆ロックピンを外す

操作台の転倒防止用ロックピンを外します。



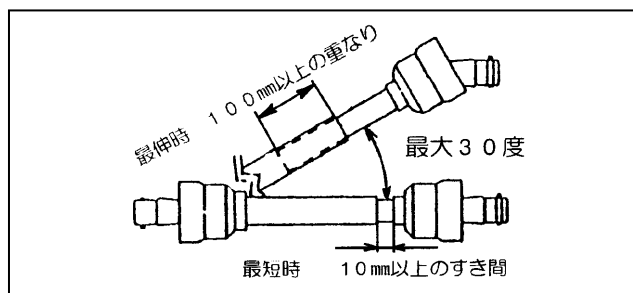
2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取り付けてから、トラクタPTO軸に確実に取り付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、ロワーリンクによる本機の上昇・下降により変化します。先にジョイント長さを確認し、長すぎる場合は、次の寸法が確保できるように切断してください。



トラクタへの装着

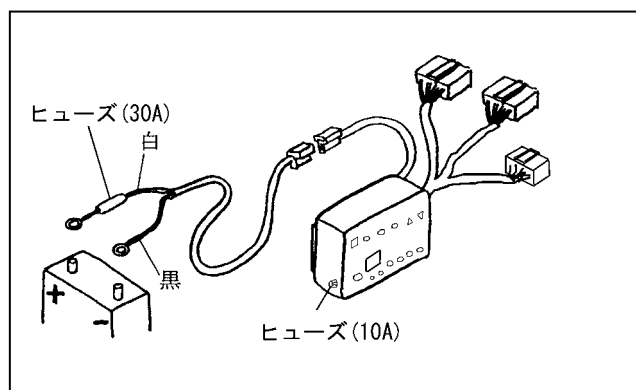
- ◆カバー回転止めチェーンで固定を
ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

！警告

カバーの回転止めは必ず行ってください。
これをおこたると傷害事故につながる
おそれがあります。

3. コントロールボックスの接続

- ◆接続できるバッテリーの電圧は
12Vです
24Vのバッテリーに接続しないでください。
間違えて接続すると、コントロール
ボックス内部の機器が破損します。



- ◆(+)、(-)の接続を間違えないように
白色線はバッテリーの(+)へ接続
黒色線はバッテリーの(-)へ接続

注意

(+)、(-)の接続を間違えると、コントロールボックスの電源ランプは点灯しません。

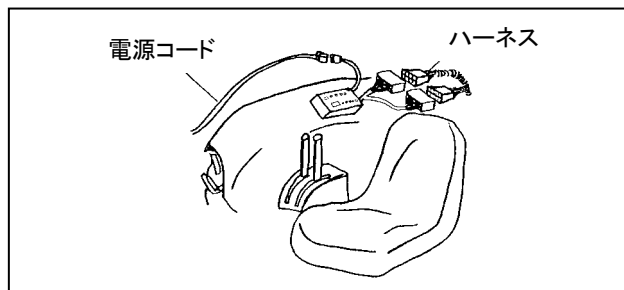
！警告

接続の順序は、(+)側から行ってください。
また、取り外すときは(-)側から行ってください。

逆にすると、火花が飛び危険です。

◆コントロールボックスの取付け

コントロールボックスの裏側に永久磁石を
装備しております。操作しやすいように、
トラクタの運転席右側の金属製フェンダー
等に吸着させて取り付けてください。



◆配線の接続

電源コードとハーネスをそれぞれコントロールボックスに接続します。
配線が作業の邪魔にならないように、
また旋回時等に引っ掛からないように
トラクタに固定してください。

◆作業終了後は取外して屋内に保管

作業終了後は、電源コード側のコネクタ
より切り離し、水等がかからない屋内で
保管してください。

4. セーフティチェーンの取扱い

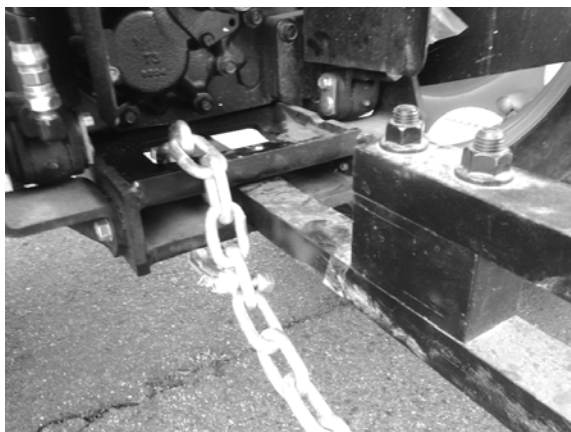
◆セーフティチェーンの組付け手順

セーフティチェーン(以下チェーンと表記)
はさまざまなトラクタに対応するため、
長めのチェーンが付属しています。
トラクタ側のチェーン取り付け位置にも
よりますが、直進時はチェーンが張られ、
旋回時にはチェーンが垂れる傾向にあります。
チェーンを取り付ける際には、
長さに十分注意し、余分なチェーンは
切断するなど走行の妨げにならないよう
にしてください。

トラクタへの装着

[1] トラクタ側と作業機側の両方でボルトナットシャックル12を使用し、チェーンを組付けてください。

(1) トラクタのフレームに
チェーンを組付けた場合



例 1

(2) トラクタのロワーリンクにチェーンを組付ける場合は、次図A寸法の大きさでボルトナットシャックルを使い分けてください。

A寸法



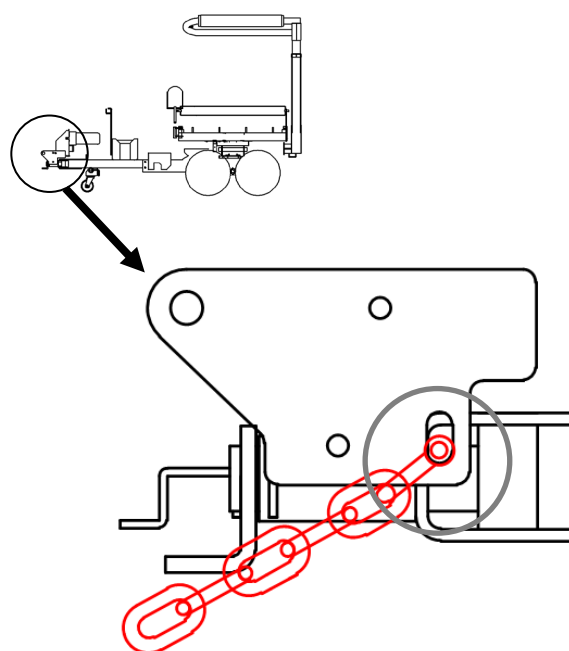
○ロワーリンクのA寸法65mm以下の場合
ボルトナットシャックル12を使用してください。



○ロワーリンクのA寸法65～95mmの場合
ボルトナットシャックル16と12を使用してください。



[2] 作業機側のチェーンの組付けには、
ボルトナットシャックル12を使用してください。



注意

ボルトナットシャックルの抜け止めは、ワリピンを使用せず、ヌケドメスナップピンを使用してください。

トラクタへの装着



ヌケドメスナップピン

ヌケドメスナップピンは反時計回りに回しながら抜きます。



5. 運行速度ステッカーの取扱い

◆運行速度ステッカーの貼り付け位置

速度制限表示(トラクタ用)をトラクタの運転席から良く見える場所に貼り付けてください。

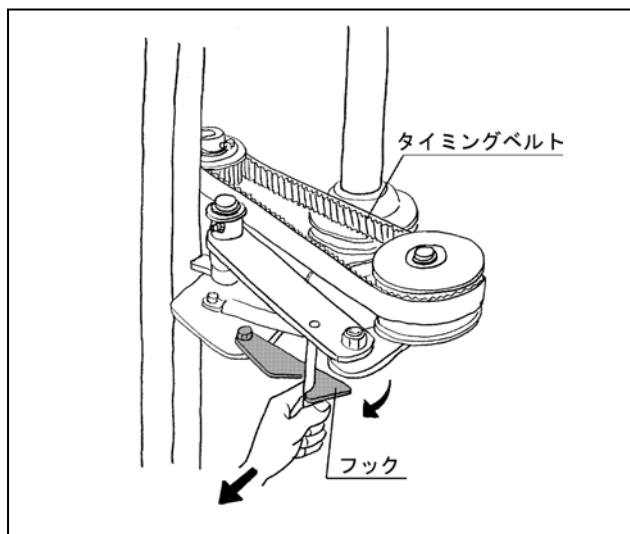
けん引時運行速度15km/h以下

速度制限表示(トラクタ用)

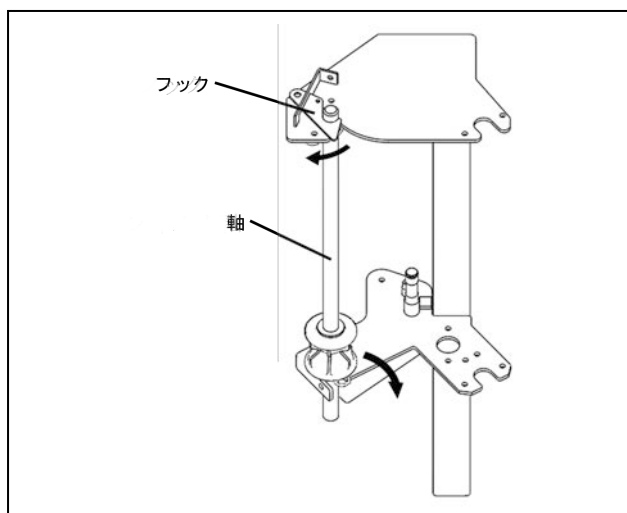
運転に必要な装置の取扱い

1. WM1262Aのフィルム装着

- ①テンションアームを引き、フックで固定してください。



- ②フックを外して軸を倒します。

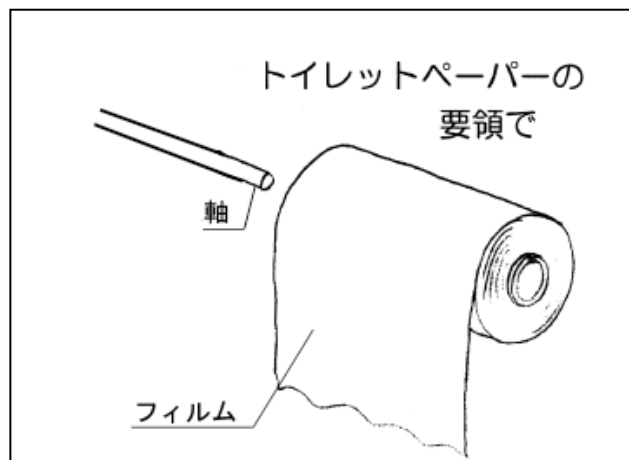


⚠ 注意

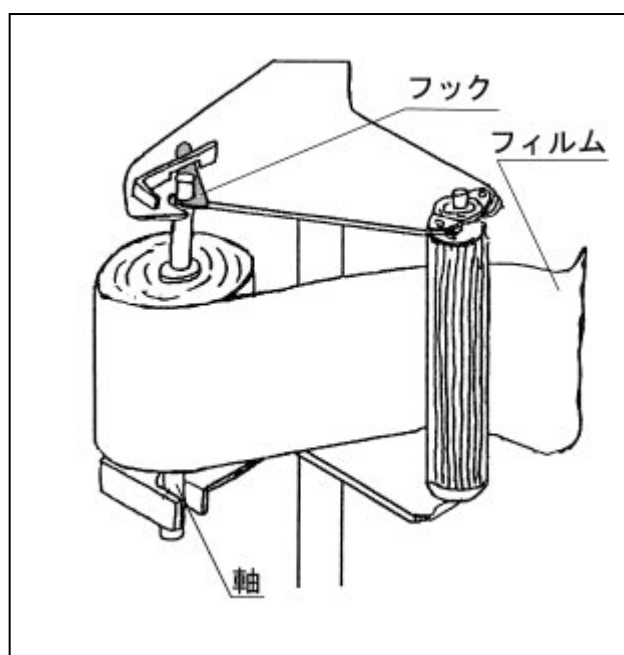
フックを外す時は、必ず軸が倒れないように手で押さえてください。
これをおこたると傷害事故につながるおそれがあります。

- ③フィルムを軸に挿入します。

傷が付かないように、フィルムの取り扱いには十分注意してください。

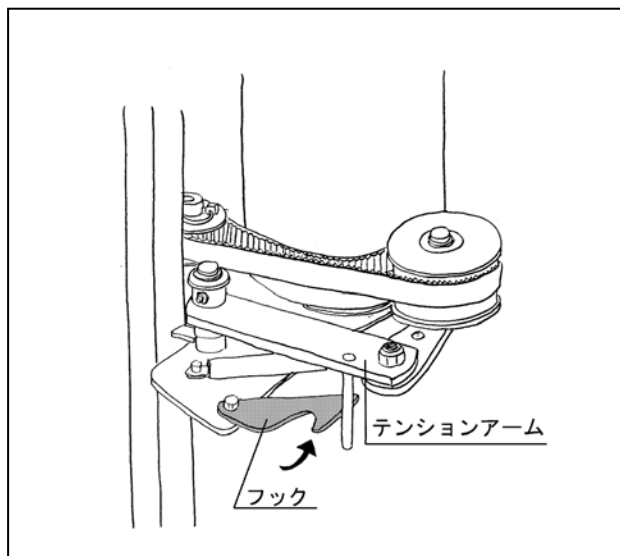


- ④軸を起こしてフックを掛けます。タイミングベルトがフィルムの円筒面に掛かっていることを確認してください。
外れている場合は掛け直してください。
フィルムは次図のように通します。



運転に必要な装置の取扱い

- ⑤テンションアームを引き、フックを必ず外してください。



その場合には、テンションアーム下に伸び率変更用のプーリーを装備しておりますので交換してください。

フィルム伸び率の調整

フィルムの幅が40cmくらいになるようプーリーを交換してください。

16T (160%)



純正フィルム用

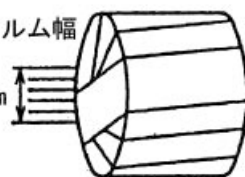
17T (150%)



フィルムが伸び過ぎる場合
フィルムがよく切れる場合

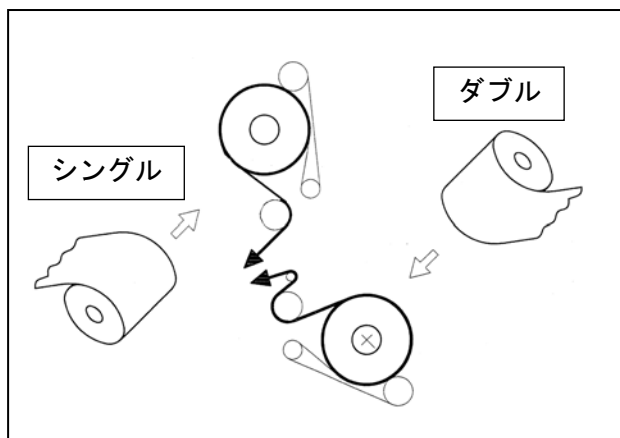
伸びたときのフィルム幅

約40cm



2. WM1272Aのフィルム装着

装着の要領はWM1262Aと同じですが、フィルムの通し方が少し異なります。

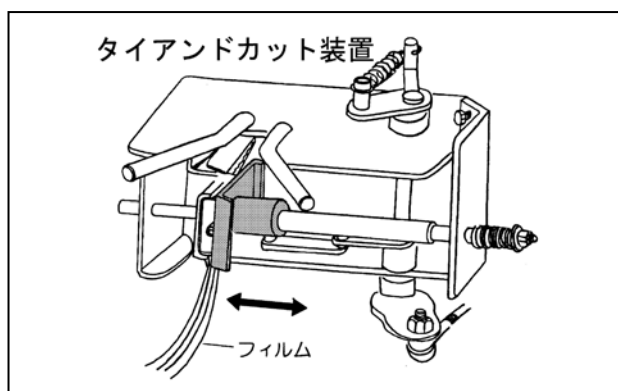


3. フィルム伸び率の調整

純正フィルムに合わせて伸び率は、160%に設定していますが、気温やフィルム特性の違いにより伸び過ぎたり切れ易くなったりすることがあります。

4. タイアンドカットにフィルムをはさむ

装置を開きます。フィルムを引き出し、装置の根元に下からはさみます。



⚠ 注意

鋭利な刃物がありますので取り扱いには十分注意してください。

注意をおこたると傷害事故につながるおそれがあります。

運転に必要な装置の取扱い

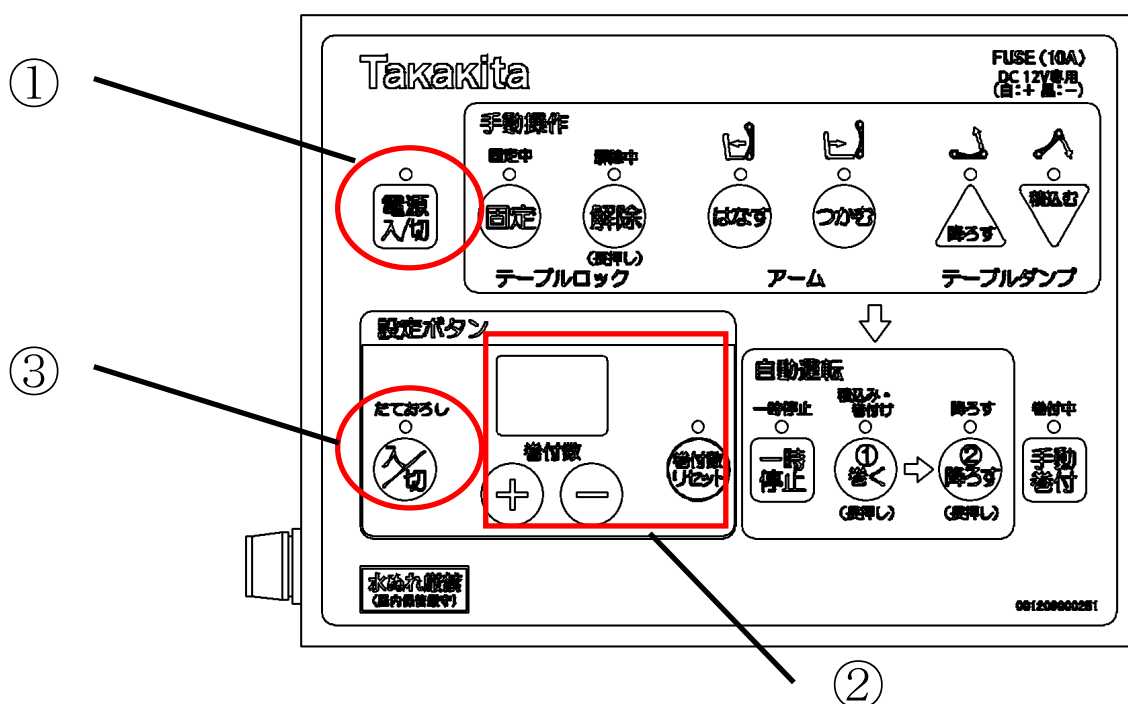
5. コントロールボックスの使い方

●作業をはじめる前の注意点

- A) コントロールボックスを操作する前に、必ず最初にPTOを入れてください。
エンジン回転は作業時以外にはアイドリングで行ってください。
- B) 作業時はPTO 回転速度は $370\text{min}^{-1} \sim 400\text{min}^{-1}$ の範囲で行ってください。
- C) 自動運転時、一部の動作にタイマーを設定していますので、PTO回転速度が上記回転速度よりずれた場合、油圧速度が変わるためタイミングが合わない動作をしますのでご注意ください。
- D) 空荷、あるいは、フィルムを巻き付けない状態でテーブルを回転させる場合は、アイドリング状態で行ってください。守らないと、停止時の衝撃が大きくなり機械を破損させる原因となります。
- E) 自動運転を行う場合は、機体の周囲に人、障害物がないかを確認してください。
- F) トラクタのバッテリーの電圧が低下すると、コントロールボックスが上手く動作しないことがあります。

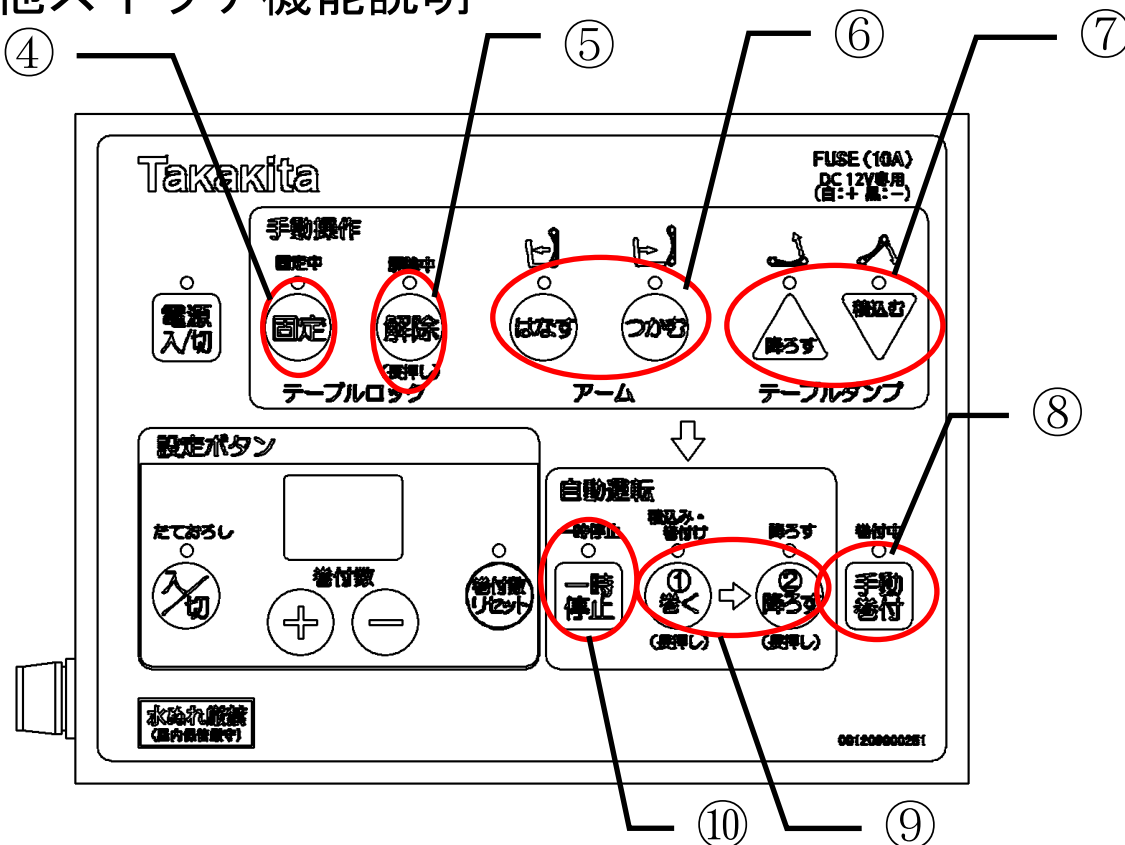
●作業前の設定

- ①電源を入れる。
- ②巻付数の設定を行う。(1度設定すると電源を切っても記憶します)
- ③たておろし作業選択の設定を行う。
(電源を切るとたておろし無しの設定となります。たておろし作業を行うときは注意してください。)



運転に必要な装置の取扱い

●その他スイッチ機能説明



④ ロックピン固定スイッチ

一度押すと、テーブルロックピンが解除後、テーブルが回転しロックします。
(PTOを入れてアイドリングで行ってください)

⑤ ロックピン解除スイッチ (長押ししてください)

一度押すと、テーブルロックピンを解除します。追い巻き等で使用してください。
(PTOを入れてアイドリングで行ってください)

⑥ アーム伸・縮スイッチ

押している間、アームが伸び・縮みます。

⑦ テーブル上下スイッチ

押している間、テーブルがダンプ (上)・リフト (下) します。

⑧ 回転スイッチ

設定巻付数だけテーブルが回転し、自動で停止します。

但し、設定が0の場合は、押している間だけテーブルが回転し、放すと停止します。

⑨ 自動スイッチ (長押ししてください)

自動運転時に使用します。自動「1」 積み込み～巻付完了 自動「2」
荷降ろし～スタンバイ

⑩ 一時停止スイッチ

自動運転時、手動回転時に緊急停止を行います。(LED点灯)

再度押すと続きから開始します。(LED消灯)

続きから開始しない場合は、上記スイッチの⑥⑦いずれかを押すとリセットします。
(LED消灯)

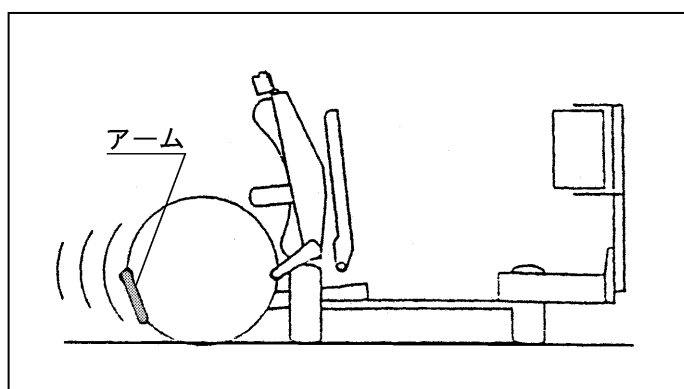
運転に必要な装置の取扱い

●自動運転を行う（主に⑥、⑦、⑨のスイッチを使用）

1. アームを伸ばす（⑥の「伸」側を押す）
2. ベールの端面がサイドローラの位置と大体合うように進入する



3. ダンプする（⑦の上側を押す）
4. アームを縮める（⑥の縮側を押し、ベールを引寄せる）
（リリースバルブが効く音がするまで縮める）



5. 引寄せた状態でベールとテーブルの位置関係を確認
6. ⑨の自動1を押す（長押し）
積み込み～巻付完了を自動で行います。
7. 荷降ろし場所へ移動（自動1作業中）
8. ⑨の自動2を押す（長押し）
荷降ろし～放出～スタンバイまでを自動で行います。

●手動運転を行う（主に⑥、⑦、⑧のスイッチを使用）

1. ベールをテーブルに載せる
2. アームを少し伸ばす
3. ⑧のスイッチを押す（巻付開始後、自動停止）
4. アームを縮める
5. 荷降ろし
6. テーブルを戻す（途中まで）

運転に必要な装置の取扱い

6. WM1262Aの巻付数設定方法

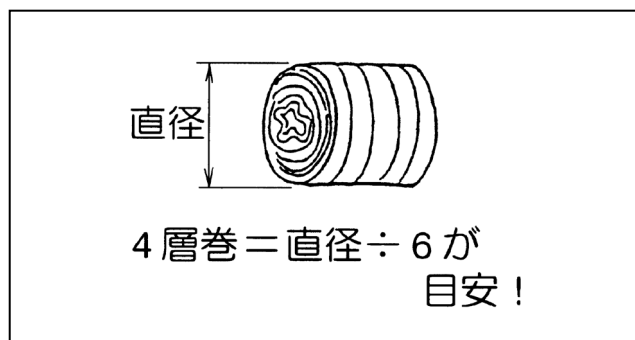
◆ 4層巻の場合

通常保存の場合、フィルムは4層巻きで十分です。

- ①ベールの直径(cm)を測ります。
- ②それを6で割ります。余りは切上げます。

《例》直径125cmの場合

$125 \div 6 = 20.9 \Rightarrow 21$ 回転
が、目安となりますが実際にラップしてから巻数を加減してください。



コントロールボックス内の巻数設定で入力してください。

◆ 6層巻の場合

長期保存などの場合、フィルムを6層巻きにした方が良いことがあります。

- ①ベールの直径(cm)を測ります。
- ②それを4で割ります。余りは切上げます。

《例》直径100cmの場合

$100 \div 4 = 25 \Rightarrow 25$ 回転
が、目安となります。

◆ フィルム1本で巻ける目安

4層巻きの場合、
直径 120cm×幅 120cmのベールでは
およそ25個、
直径100cm×幅100cmのベールでは
およそ35個のラップができます。

7. ダブルストレッチの巻付数設定方法

(WM1272A)

4層巻き、6層巻きともシングル時の半分
としてください。

余りは切り上げます。

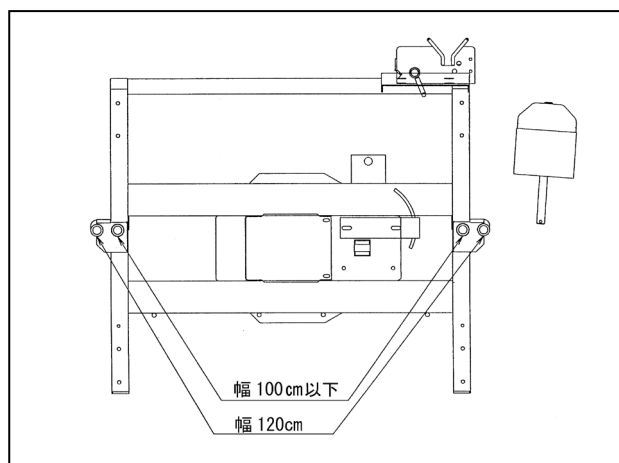
《例》直径25cmの4層巻きでは

$21 \div 2 = 10.5 \rightarrow 11$ 回転

が目安となりますが、実際にラップ
してから巻数を加減してください。

8. サイドローラの位置

ベール幅によって位置を移動させてく
ださい。



9. シングル／ダブルストレッチの切替え

(WM1272A)

以下のような条件ではダブルストレッチが
使用できないことがあります。

- ・ ベール直径が100cmに満たない場合
⇒フィルムとベールの位置が合わない
ため、巻きむらが生じるおそれがあり
ます。
- ・ ベール重量が150kgに満たない場合
⇒ベールがターンテーブルより脱落して
作業できない場合があります。

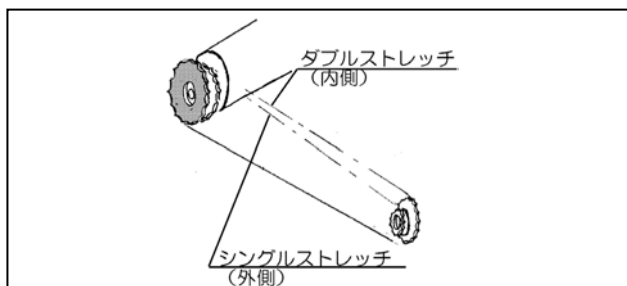
このような場合、シングルストレッチで使う
必要があります。

次項の要領に従い組み替えてください。

運転に必要な装置の取扱い

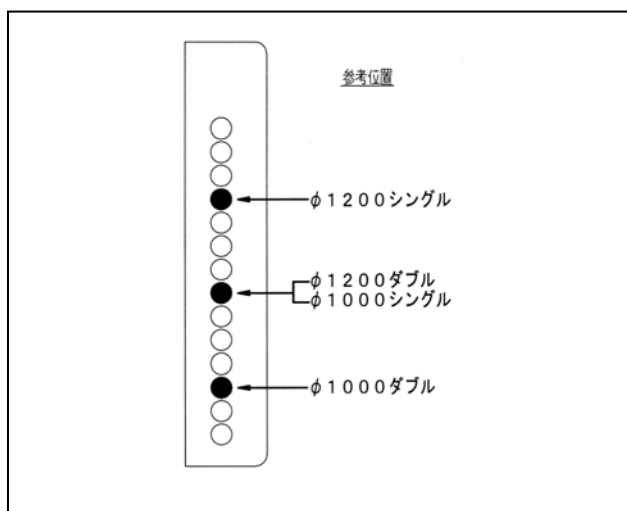
◆ターンテーブルのスピード変更

- ①テーブルローラを固定しているベアリングのボルトを緩めます。
- ②チェンを掛け替えます。シングルストレッチは外側(ダブルストレッチは内側)です。
- ③ベアリングによりチェンを張り、固定してください。
- ④カバーを取り付けます。



◆ストレッチ台の高さ変更

- ①コノジボルトを緩めます。
- ②ストレッチ台は図の位置を目安にして、適切な穴にL型ピンを差してください。フィルムの中央とロールの中央が同じになるように、微調整してください。
- ③高さが決まったらコノジボルトを締めます。
- ④ピンには必ずアールピンを差してください。



◆カウンタの変更

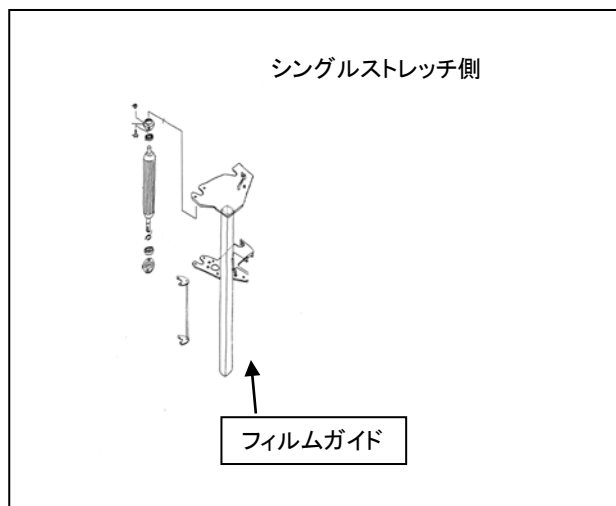
WM1262Aの巻付数設定方法 (P.29) を参考に設定を変更してください。

⚠ 警告

この作業を行う時は、ダンプフレームを完全に戻った状態にして、必ずエンジンを停止してから行ってください。これをおこたると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

◆フィルムガイドの取り外し

ダブルストレッチの組付け時は、シングルストレッチのフィルムガイドは不要とですので取り外してください。外さずに使用すると、干渉しフィルムが破れるおそれがあります。



◆ウェイトの取外し

ダブルストレッチの組付け時は、スイングアームのウェイトを3枚外してください。

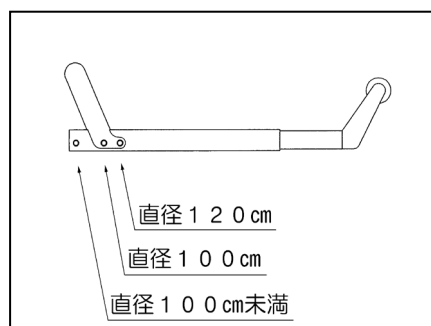
⚠ 注意

外さないとタイヤに負担がかかり、パンクするおそれがあります。

運転に必要な装置の取扱い

10. アームの取付け位置

ボール径によってピンの位置を変更してください。



11. シェアボルトについて

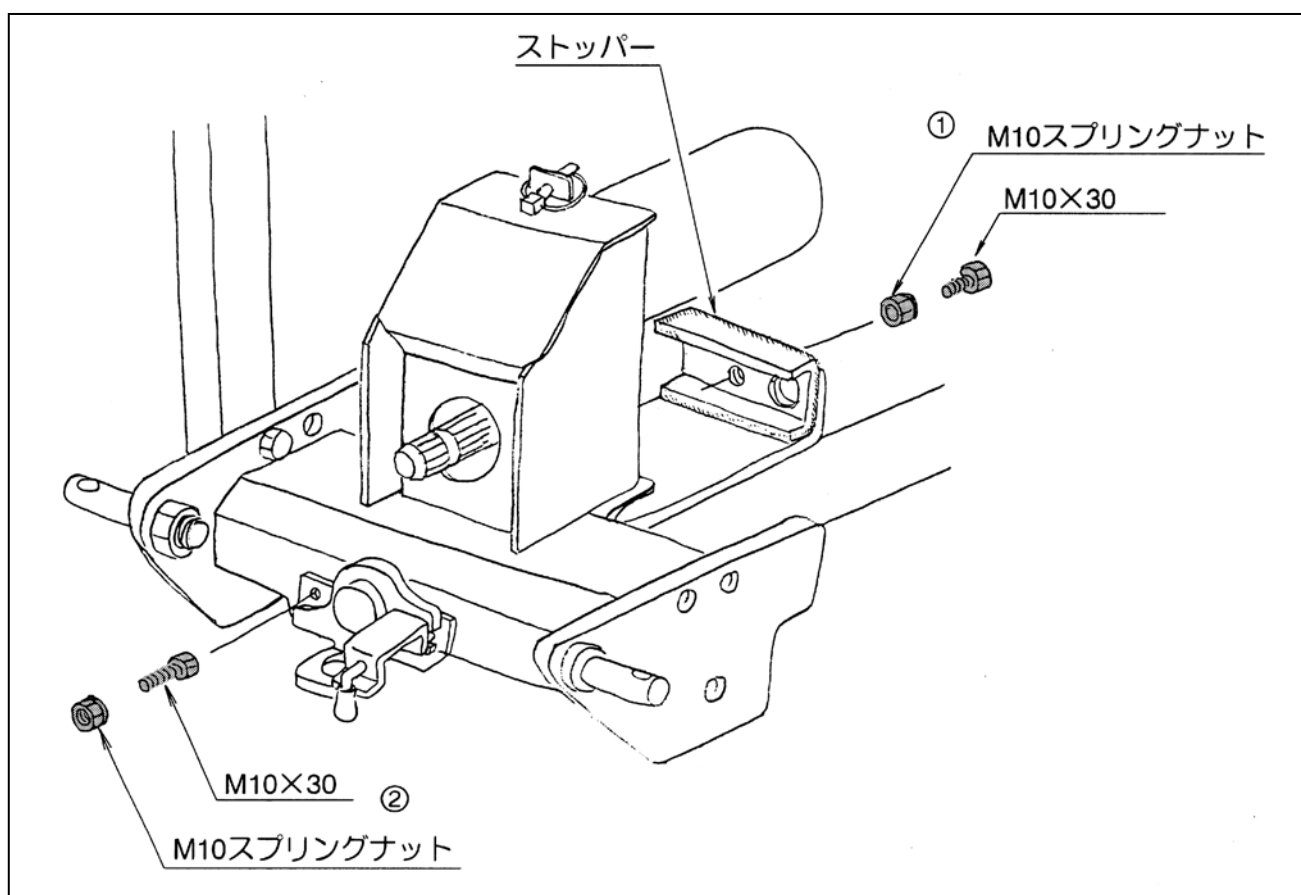
機械の破損を防止するため、図のように2箇所にシェアボルトを装備しています。
切断したら、速やかに入れ替えてください。

①旋回角度規制用

バックの時などけん引かんの角度がつき過ぎると切断します。

②回転角度規制用

ほ場への出入り等、機械が限度を超えて回転すると切断します。



⚠ 警告

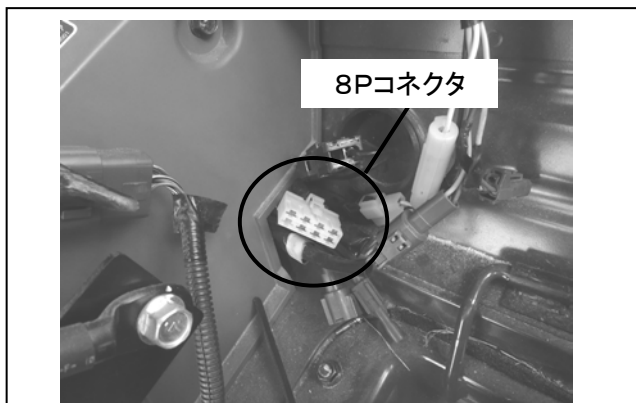
この作業を行うときは、水平な場所でトラクタのエンジンを停止してから行ってください。

これをおこたると重大な傷害事故につながるおそれがあります。

運転に必要な装置の取扱い

12. テールランプの確認

ハーネスの8Pコネクタをトラクタの灯火装置用コネクタに接続し、ランプが正常に点灯することを確認してください。



注意

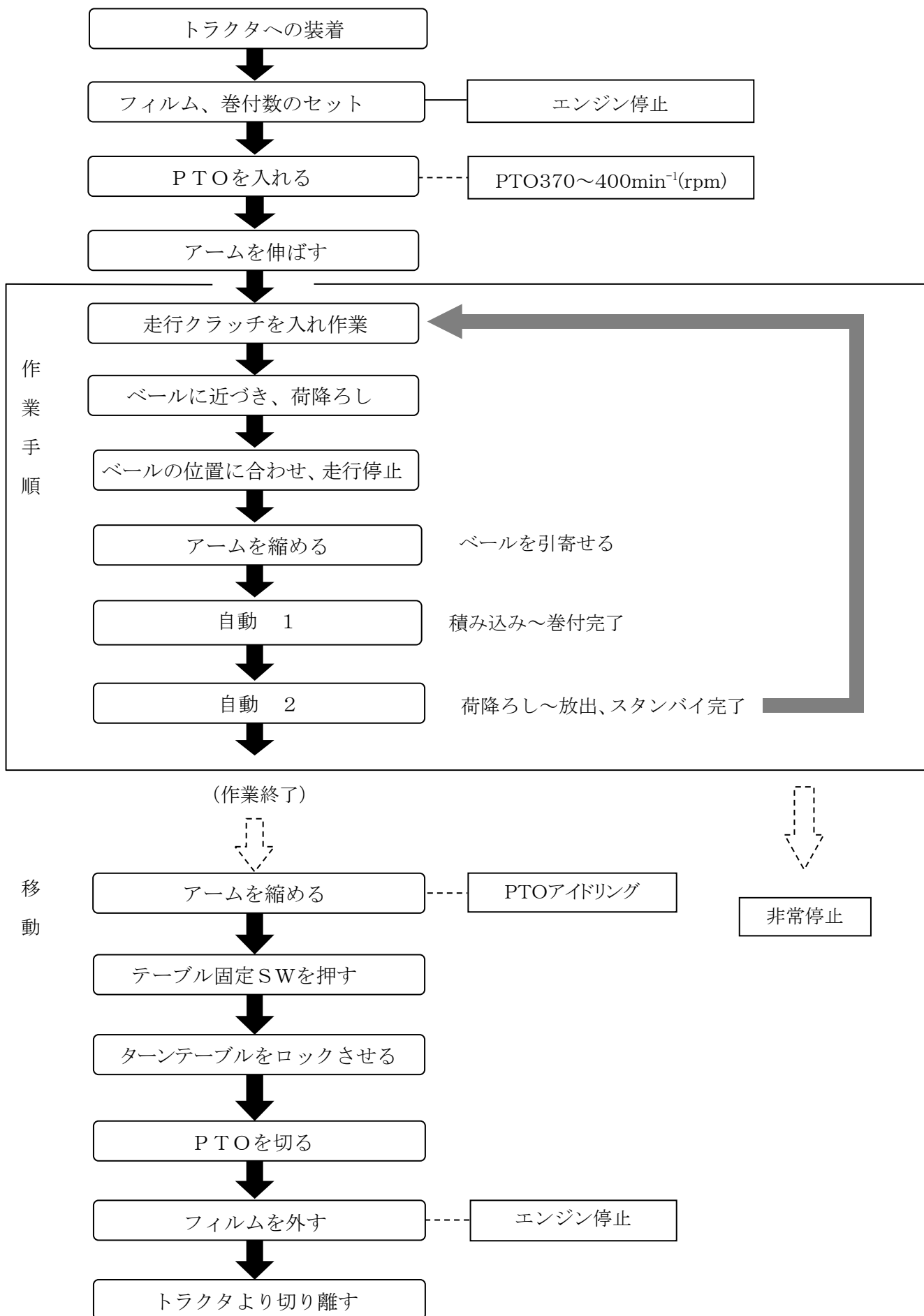
コネクタの形状が異なる場合は、付属の簡易変換ハーネスを使用してください。

⚠ 警告

コードに傷がつくと正常な点灯が行われず、思わぬ事故をおこすおそれがあります。

作業方法

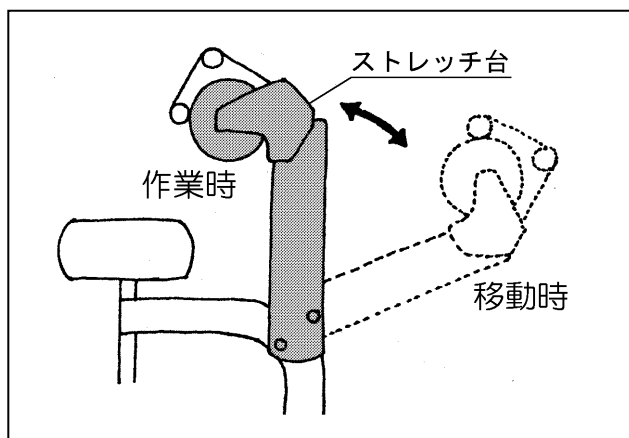
1. 作業手順と要点



作業方法

2. ストレッチ台を引き出す

積み込み時のバランスをとり、タイアンドカットを働かせるため、作業時には必ずストレッチ台を引き出します。



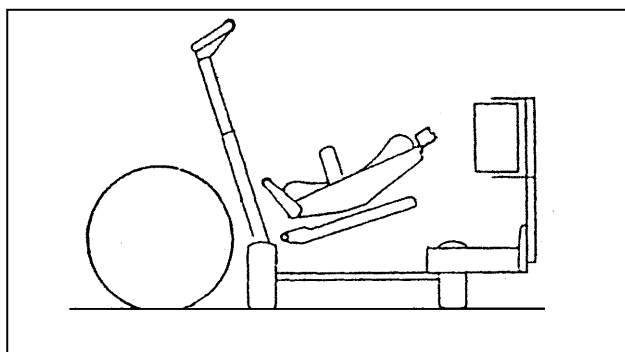
！ 注意

この作業は必ず平坦地で行ってください。
これをおこたると傷害事故につながる
おそれがあります。

3. 自動運転を行う

積み込み作業はターンテーブルをロック
させてから行います。

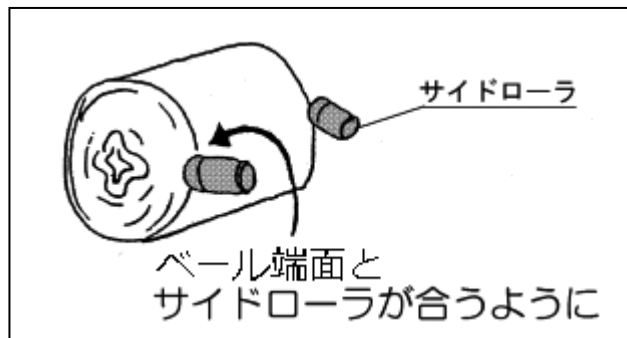
- ①PTOを回します。(アイドリング)
- ②コントローラのテーブル固定スイッチを押してテーブルをロックさせてください。
- ③アームを伸ばします。
- ④少しダンプします。



- ⑤ボールの端面が前方へサイドローラの位置と大体合うように、進入します。

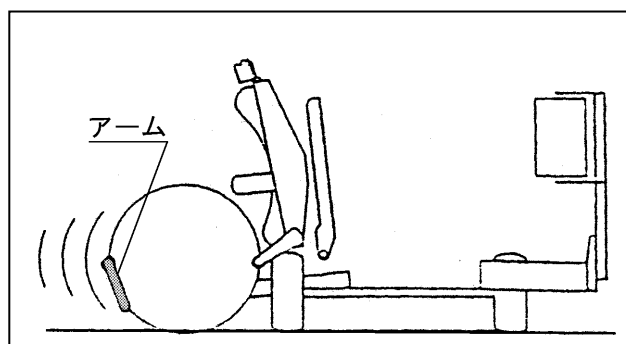
- ⑥最後までダンプします。

この時、ボールの端面とサイドローラの位置が合うようにトラクタを前後させてください。



- ⑦PTO回転を $370 \sim 400 \text{ min}^{-1}(\text{rpm})$ にセットしてください。

- ⑧アームを縮めます。
(リリースバルブの音がするまで)
(ボールが寄ってきます)



- ⑨ボールとテーブルの位置関係を確認する。
- ⑩自動1スイッチを押す(長押し)。
積み込みを開始し巻付完了まで自動で行います。

注意

変形ボールの場合は低速でラップしてください。

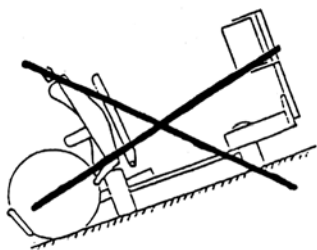
！ 警告

本機のボール積み込み能力は最大700kgです。それ以上重いボールを持ち上げるのは転倒の危険がありますので、絶対にやめてください。

作業方法

！警告

谷側からの積み込みは、転倒の危険がありますので絶対にやめてください。

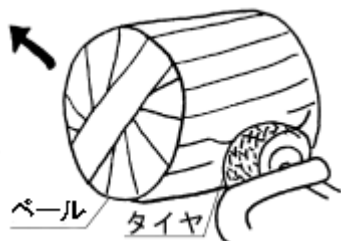


- ⑪ ベールを降ろす場所まで移動する。
ベールはなるべく水平な場所で降ろしてください。
やむを得ず傾斜地で降ろす場合は、等高線に対して直角に降ろしてください。

！警告

谷側への積み降ろしは転倒の危険がありますので絶対にやめてください。

- ⑫ 自動2スイッチを押す（長押し）。
ベールを放出後、テーブルが戻り、次の作業のスタンバイ状態までを自動で行います。
トラクタを前進させて次のベールをラップします。
荷降ろしたベールがタイヤと接触した場合、無理に前進させるとフィルムが破れることがありますので、必ずタイヤから離してから前進させてください。



！注意

自動運転を行う前に、周囲に人、物がないか安全を確認してください。
これをおこたると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

自動運転中に動作を停止する場合には、非常停止ボタンを押すと（LED点灯）停止することができます。電源を切らなければ、停止した状態がメモリされているため、再度、非常停止ボタンを押すと（LED消灯）次の作業から再開されます。また、その他のスイッチを押すことで、リセットされ、メモリが消去されます。

4. 手動運転を行う

手動でも作業ができます。

- ① ベールをテーブルに載せる
- ② アームを少し伸ばす
- ③ 手動巻付スタートスイッチを押す
（巻付開始後、自動停止）
- ④ アームを縮める
- ⑤ 荷降ろし
- ⑥ テーブルを戻す（途中まで）

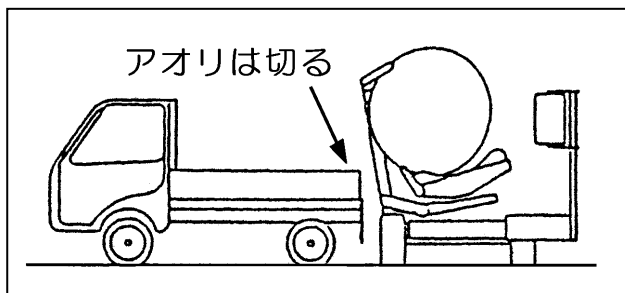
回転中にフィルムが切れたり無くなった場合は、非常停止ボタンを押すと（LED点灯）停止することができます。電源を切らなければ、停止した状態がメモリされているため、再度、非常停止ボタンを押すと（LED消灯）続きから作業を再開します。また、その他のスイッチを押すことでリセットされ、メモリが消去されます。

作業方法

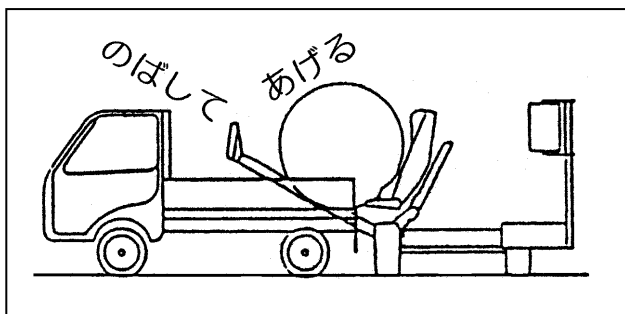
5. ベールを軽トラックに積込む場合

荷台高さが70cmくらいであればベールを積み込むことができます。

- ①ラップしている時は、いったんアームが水平になる位置まで降ろし、タイアンドカット装置を働かせてフィルムを切断し、ベール下端の高さが80cm位になるまで持ち上げます。



- ②軽トラックを車輪ぎりぎりまで近付けます。あおりは切っておきます。
- ③ベールが荷台に着くまでダンプします。
- ④アームを伸ばします。
- ⑤ダンプフレームをリフトします。
- ⑥ベールが転げ落ちないように、あおりを閉めます。



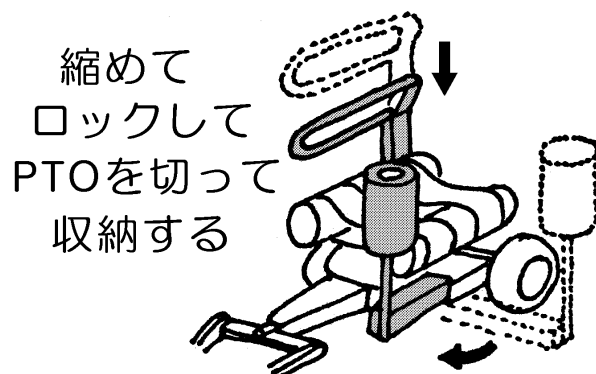
！ 注意

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして安全を確かめ合いながら作業してください。
これをおこたると、傷害事故につながるおそれがあります。

6. 移動時の注意

移動する時は、以下のことを守ってください。

- ①アームを縮める。
- ②ターンテーブルをロックする。
- ③PTOを切る。
- ④ストレッチ台を収納する。



！ 注意

ストレッチ台の収納は、必ず平坦地で行ってください。
これをおこたると傷害事故につながるおそれがあります。

7. 収納時の注意

各部に巻き付いた草などを取り除いて、車輪止めをしてください。
屋外に放置する場合は、フィルムを外して雨などで濡れないようにしてください。

！ 注意

作業機に近づく場合は、必ずトラクタのエンジンを停止してください。
これをおこたると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

作業前の点検について

作業の安全確保と故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警告

- 取り外したカバー類は必ず取り付けてください。
衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときはトラクタのPTOを切り、エンジンを停止して、回転部が止まってから行ってください。

点 検 整 備 基 準

○点 検 ●交 換 △補 給 □清 掃

作 業 内 容		時 間						備 考
		作業前毎	作業後毎	20時間毎	50時間毎	100時間毎	200時間毎	
機 体 部	ボルト、ナットの緩み						○	作業前毎
	チェンのたるみ				○			初期 2 時間
	タイヤ空気圧			○				
	カウンタ回り		□					
	ターンテーブルまわり		□					
	機体の洗浄		□					
	ゴムロールの掃除		□					
給 油 部	各チェン			△				注油
	ユニバーサルジョイント					△		
	伸縮アーム部	△						グリス塗布
	カウンタ周辺のリンク部			△				注油
	油圧シリンダ支点					△		
	ロックピン					△		
	油圧オイル						●	不足の場合適宜補給
	サイドローラ			△				

注 意

特に作業条件が悪い場合や、連続作業で稼働率が高いときは適宜規定の時間より早めに点検整備してください。

簡単な手入れと処置

！ 警告

点検・調整をするときは必ずPTOを切り、エンジンを停止してください。
これをおこたると重大な傷害事故を引き起こすおそれがあります。

1. 油圧作動油について

点検、補給はエンジン始動前に行ってください。

不足している場合は、適時補給してください。

油はJIS K 2213添加タービン1号または2号相当品、またはISO VG68をご使用ください。

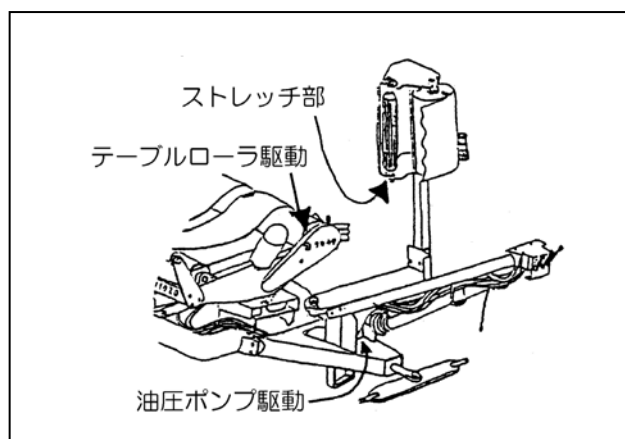
注 意

- 不燃性作動油は使用できません。
- 寒冷地では耐寒性作動油をご使用ください。
- 工場出荷時はシェルテラスオイル68を使用しています。(所要油量：3ℓ)
- 長時間連続作業を行った場合、油温上昇のため油圧効率が悪くなり、動作が遅くなることがあります。その場合は、作業を止めて油温を下げると復帰します。

2. チェンの調整

ストレッチ部、テーブルローラ駆動、油圧ポンプ駆動の3箇所にチェンを使用しています。

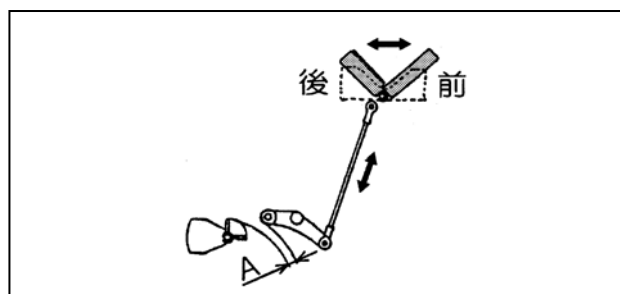
チェンは特に初期に伸びますので、テーブルローラ駆動、油圧ポンプ駆動の2箇所は最初の2時間使用後に張り調整を行ってください。



3. タイアンドカットの調整

- ベールの荷降ろし時、同装置が働いてフィルムを切断・保持しますが、位置が合っていないとうまく機能しません。
- ベールの寸法によっては移動する必要があります。

- ①フィルムが前方にずれる場合、
装置を前に移動させます。
- ②フィルムが後方にずれる場合、
装置を後ろに移動させます。
- ③装置を移動した後、A寸法が1～2mmになるように、ネジを調整します。



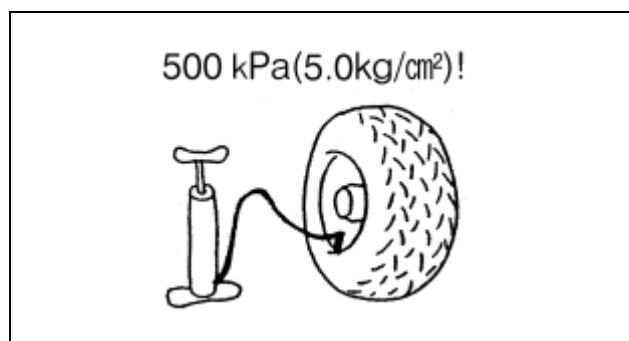
簡単な手入れと処置

4. タイヤの空気圧

タイヤサイズは、

22×10.00-10 10PRです。

シーズン始めにタイヤの空気圧を測り、足りない場合は空気を補充してください。空気圧は500kPa(5.0kg/cm²)です。



5. ゴムロール

作業後、ゴムロールに付着した糊を軽油等で拭き取ってください。

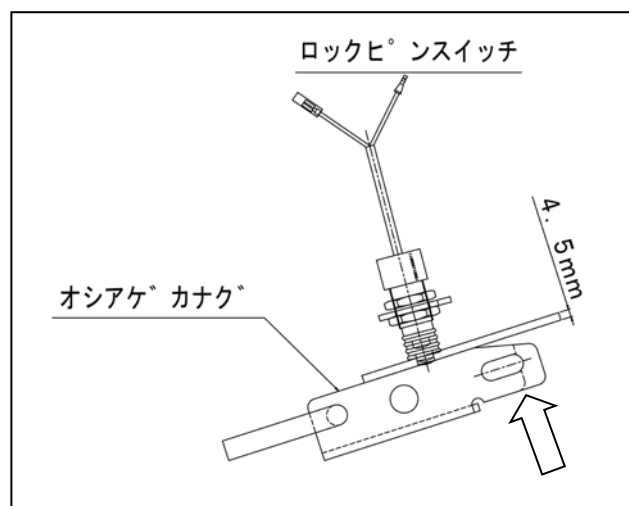
糊が付着したまま作業を続けると、フィルムの張力が一定せず、巻きむらが起こることがあります。



6. スイッチ類の調整

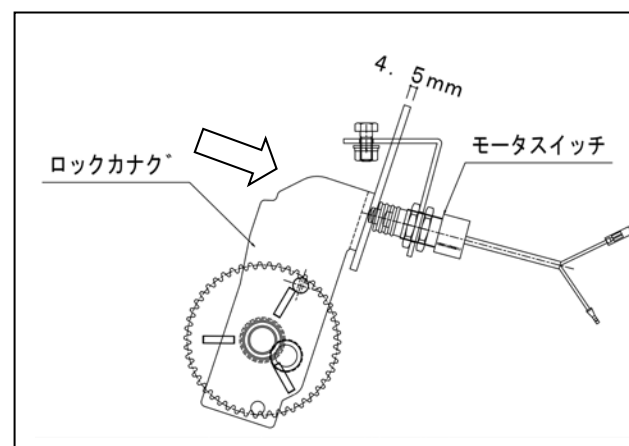
◆ロックピンスイッチの調整

- ①オシアゲカナグを上方向に押し切った位置にします。
- ②オシアゲカナグとスイッチのすき間に4.5mmのゲージを入れます。
- ③スイッチをゲージに押し切って固定してください。



◆モータスイッチの調整

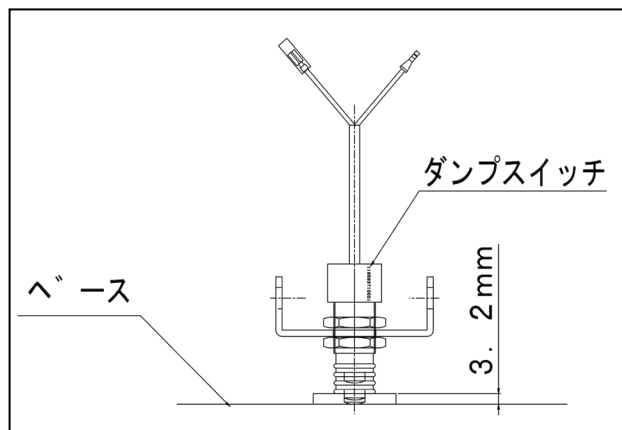
- ①ロックカナグを矢印方向に押し切った位置にします。
- ②ロックカナグとスイッチのすき間に4.5mmのゲージを入れます。
- ③スイッチをゲージに押し切って固定してください。



簡単な手入れと処置

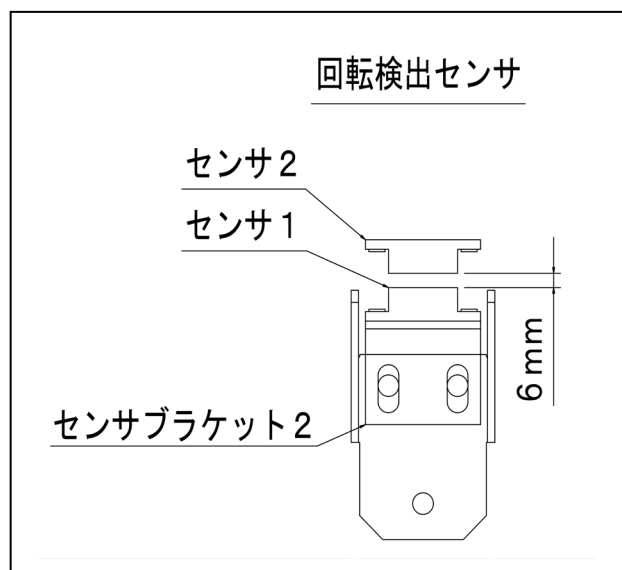
◆ダンプスイッチの調整

- ①ゴムのダンパを外します。
- ②テーブルを戻しきってください。
- ③ベースとスイッチのすき間に3.2mmのゲージを入れてください。
- ④スイッチをゲージに押し切って固定してください。
- ⑤テーブルを上げてダンパを付けてください。



◆回転検出センサの調整

- ①センサブラケット2を固定しているM8のスプリングナットを緩めて、長穴でセンサ1とセンサ2のすき間を6mmにします。
- ②M8のスプリングナットを締めてセンサブラケット2を固定してください。



不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参照 ページ
●ベールが持ち上がらない	●オイルが減っている ●ベールの引き寄せ量不足	●オイルを補給する ●再度アームを伸縮する	38 —
●ベールを引き寄せられない	●オイルが減っている ●グリス切れ	●オイルを補給する ●アームを伸ばし、グリスを塗布	38 —
●動作速度が遅い	●オイルが減っている	●オイルを補給する ●フットアクセルでエンジン回転速度を上げる	38 —
●フィルムがよく切れる	●ゴムロールが汚れている ●チェンの油切れ ●フィルムの性質 ●テーブル回転が速い	●ゴムロールをきれいにする ●チェンに注油する ●ストレッチプーリを交換する ●エンジン回転を遅くする	39 38 25 —
●いつまでたってもターンテーブルが停止しない	●回転検出センサ、ロックピンスイッチの調整不良	●回転検出センサ、ロックピンスイッチの調整	39
●ターンテーブルがロックしない	●ロックピンが出てこない	●モータスイッチ調整	39
●タイアンドカット装置がうまく動作しない	●ターンテーブルがロックされていない ●装置の位置不良	●テーブルをロックする ●前後に移動する	— 38
●ターンテーブルからベールが落ちる	●ターンテーブル回転が速い	●エンジン回転を遅くする	—
●ダンプしない	●ターンテーブルがロックされていない ●ロックピンスイッチ調整不良	●アイドルリングでPTOを回し、テーブル固定ボタンを押す ●ロックピンスイッチ調整	— 39
●フィルムを巻き終わってもリリーフが効き続ける	●ロックピンスイッチ調整不良	●ロックピンスイッチ調整	39

この項にしたがって再度点検しても直らないときには、販売店にお問い合わせください。

付 表

1. 主要諸元

品 名	オートラップマシーン	
型 式	WM1262A	WM1272A
機 体 寸 法	全 長	3, 150mm
	全 幅	2, 300mm(作業時)～1, 800mm(格納時)
	全 高	2, 270mm
質 量	960kg	950kg
装 着 方 法	2Pけん引式(カテゴリ I)	
P T O 回 転 速 度 min ⁻¹ (rpm)	370～400	
適 応 ト ラ ク タ	18. 4～51. 5kW(25～70PS)	
リフトアーム揚力	700kgf	
許容ベールサイズ	直径 90～120cm×幅85～120cm	
タ イ ヤ サ イ ズ	22-10. 00-10 10PR	

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

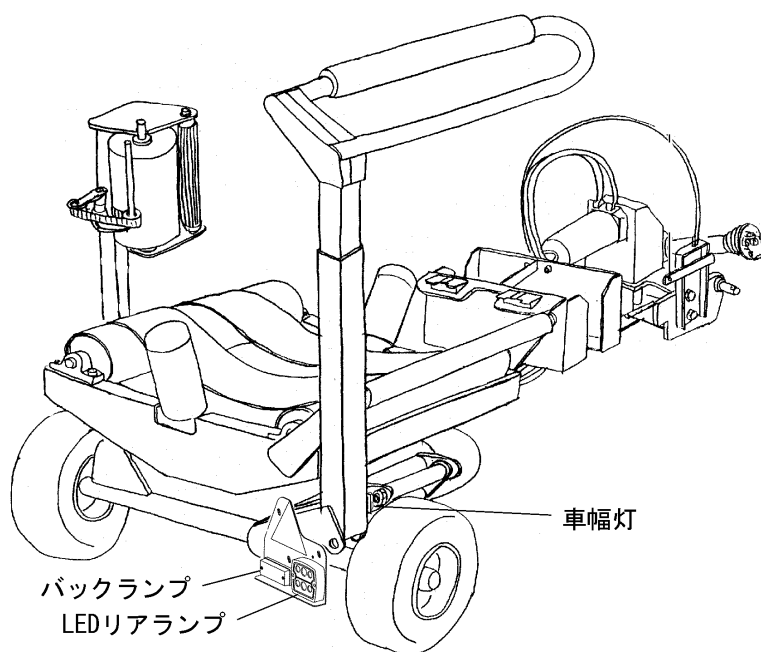
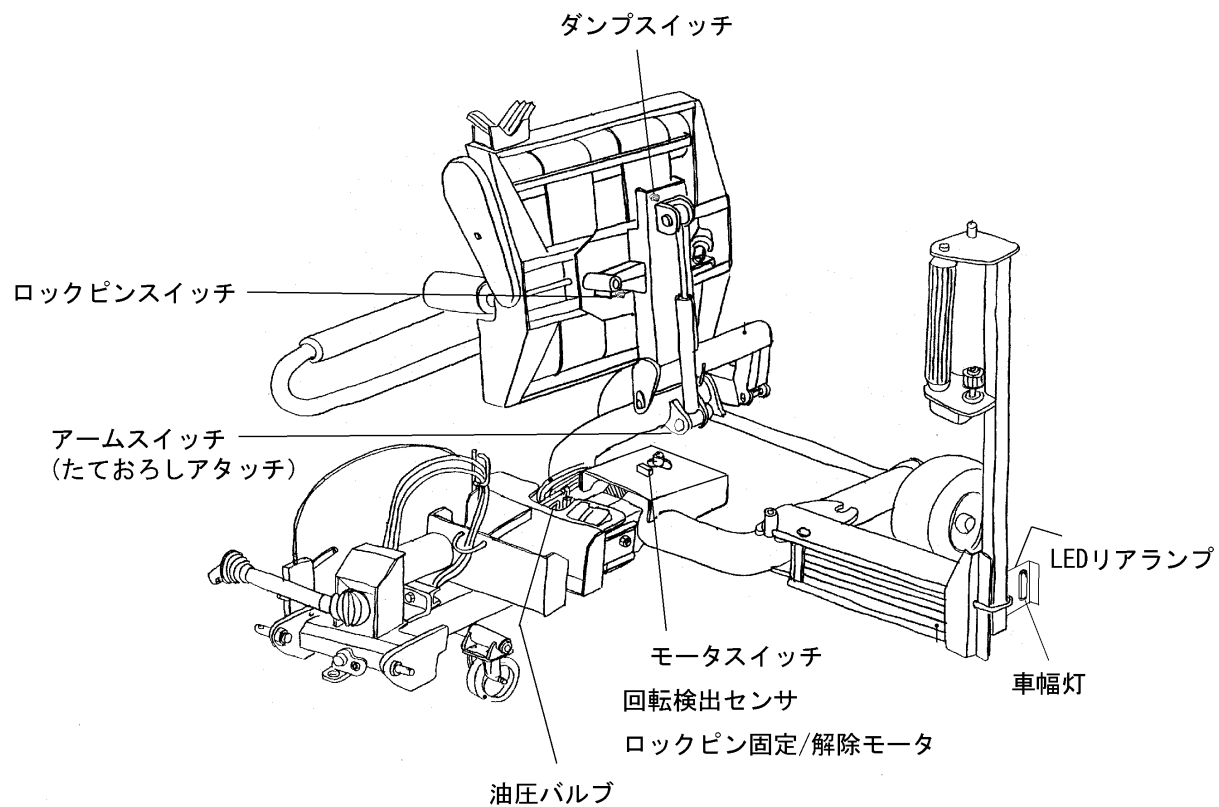
※質量はユニバーサルジョイント装着時の重量です。

2. 主な消耗部品

部 品 名 称	部 品 コ ー ド	備 考
ボルト 10×30	01114 0100 300	
スプリングナット 10	02121 4001 100	
ナイフ	11665 6543 000	オルファ LB-10K 相当品
ヒューズ	00900 0100 100	10A
ヒューズ	00900 0100 300	30A

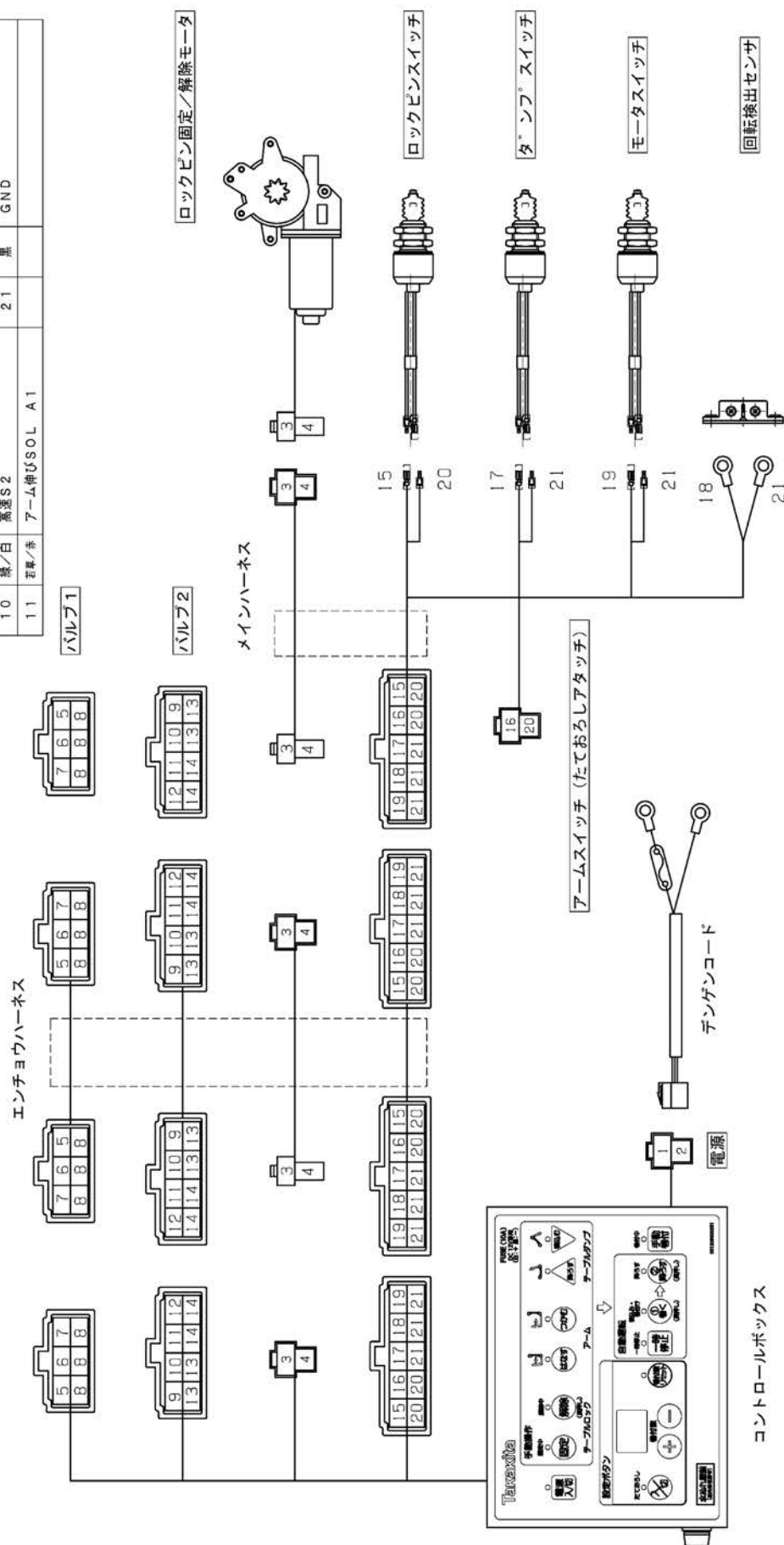
付 表

3. 電装の位置



4. 電装回路図

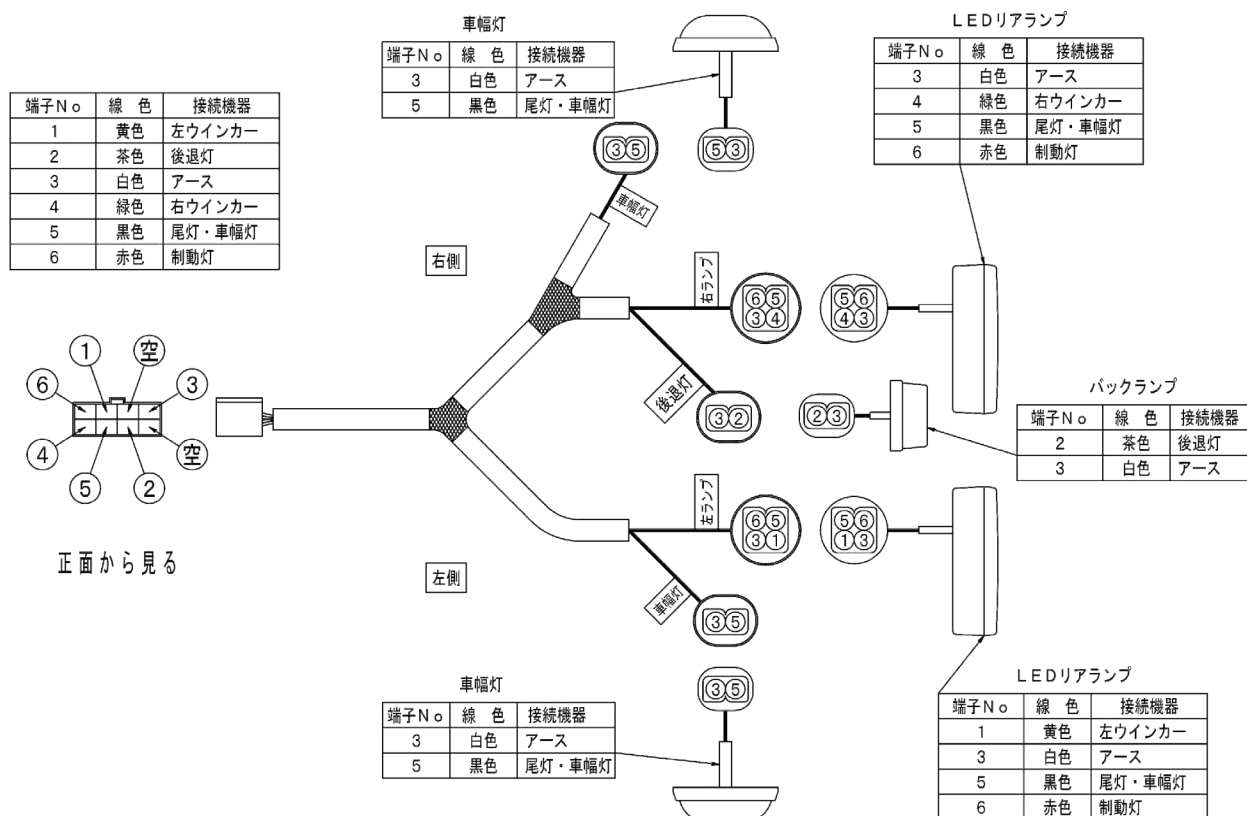
No	色	名称	No	色	名称
1	白	12V	12	若草/白	アーム伸びSOL B1
2	黒	GND	13	黒	GND
3	赤/白	モータ (正転)	14	黒	GND
4	赤/黒	モータ (逆転)	15	黄/赤	ロックピンスイッチLS1
5	青/黄	低速S1	16	白/赤	アームスイッチLS2
6	青/赤	荷降しSOL A2	17	橙	タ'ンフ'スイッチLS3
7	青/白	横込みSOL B2	18	白/黒	回転検出センサLS4
8	黒/白	GND	19	黄/黒	モータスイッチLS5
9	緑/赤	SOL T	20	黒	GND
10	緑/白	高速S2	21	黒	GND
11	若草/赤	アーム伸びSOL A1			



付 表

5. 保安部品電装回路図

◆保安関係



◆変換ハーネス

トラクタ側の灯火装置用ソケットが日農工規格で定めるトレーラ用接続コネクタ(CN8極コネクタ)ではなく、DIN規格品(7PDINソケット)の場合変換ハーネスを取り付けてください。

端子No.	線色	接続機器
1	黄色	左ウインカー
2	茶色	後退灯
3	白色	アース
4	緑色	右ウインカー
5	黒色	尾灯・車幅灯
6	赤色	制動灯

端子No.	線色	接続機器
1	黄色	左ウインカー
2	茶色	後退灯
3	白色	アース
4	緑色	右ウインカー
5	黒色	尾灯・車幅灯
6	赤色	制動灯

